はじめに

昭和23年４月、１台の救急車により開始した本市の救急業務は、市民に欠くことのできない行政サービスとして定着し、令和６年３月１日現在、消防局、25消防署、26出張所に72救急隊を分散配置し、各種の救急需要に備えています。

令和５年の出場件数は26万3,089件で、搬送人員にあっては20万9,110人となりました。これは救急車が2.0分に１件出場し、市民13.3人に１人が救急車によって医療機関等へ搬送されたことになります。

このような背景のもと、平成８年度には救急救命士の常時乗車体制を確立するとともに、メディカルコントロール体制のもと、医師や指導救命士による救急救命士の生涯教育体制や事後検証体制の確立など、救急業務の質的向上を図ってきました。

平成21年10月に大阪市内を対象に「大阪市救急安心センター」を開設し、平成22年12月には大阪府内全域を対象に「救急安心センターおおさか」として当局が事務局を担い、大阪府内全市町村で共同運営することとなりました。現在、専用電話回線（＃7119 または、06－6582－7119）を設けて看護師が医師の支援体制のもと24時間・365日、府民の方からの救急医療相談や救急病院の問合せなどに対応しており、救急医療相談の結果、緊急性の高い症状の場合には、速やかに救急車を出場させる体制を整備しています。

救命効果の向上を図るため、平成６年度から救命講習会を開催し、平成24年10月にはパソコンやスマートフォンで学べるWEBサイトを開設しました。また、119番受信時には事案対応を行う指令係員が応急手当方法の指導も行っています。

さらに、救急活動記録等のデータを分析し、ケガや病気の予防策を市民の方に情報提供する、「予防救急」の普及啓発に努めています。

平成25年２月、救急隊がスマートフォンアプリを用いて、医療機関の受け入れ情報をリアルタイムで受信し、傷病者の観察項目を入力することで、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」を導入し、迅速かつ的確な傷病者の搬送に努めています。

また、ICTに関する取組みとして、平成27年９月に、「小児救急支援アプリ」を、平成30年４月に、「救命サポートアプリ」の運用を開始しました。

年々増加傾向にある救急需要に対応するために、計画的かつ段階的に救急隊の増隊を行っており、平成29年から令和５年にかけて総計12隊の救急隊を新たに導入しました。

夏季や年末年始等の救急需要増大時に対しては、増強救急隊の運用を実施しており、より効果的かつ効率的な体制の強化を検討しております。

今後も、消防と医療機関だけでなく、市民の皆さんとともに尊い命を守るための体制づくりや、救急業務の推進に一層の努力を傾注し、市民の皆さんの信頼と期待に応えていきます。

ここに、令和５年中の救急業務の実態をまとめましたので、より多くの皆さんに救急業務を理解していただくためにご活用いただければ幸いです。

令和６年３月

大阪市消防局

目　　次

救 急 体 制 等

１．救急体制の現況 …… 3
２．救急医療体制の現況 …… 4
３．救急医療情報 …… 4
４．救急隊員の教育等 …… 5
５．救急救命士制度の運用 …… 6
６．指導救命士制度の運用 …… 7
７．応急手当の普及啓発 …… 8
８．救急安心センターおおさか …… 10
９．小児救急支援アプリ …… 11
10．救命サポートアプリ …… 11
11．予防救急 …… 12
12．患者等搬送事業の認定と指導 …… 12
13．関係機関等との協調 …… 12
図１　救急医療情報システム概要図 …… 13
表１　救急隊配置状況 …… 14
表２　救急活動用資器材 …… 15
表３　二次・三次救急医療機関 …… 16
表４　初期救急医療機関 …… 18
表５　休日・夜間緊急歯科診療所 …… 18
表６　二次・三次救急医療機関の推移 …… 18

救 急 活 動

１．救急活動状況 …… 21
２．事故種別救急活動状況 …… 22
３．救急救命士活動状況と救命率 …… 24
４．救急出場件数の高順位 …… 26
５．時間別出場件数 …… 27
６．救急活動所要時間 …… 28
７．程度別搬送状況 …… 29
８．性別・年齢層別搬送状況 …… 30
９．医療機関開設主体別搬送状況 …… 32
10．転院搬送状況の推移 …… 32
11．転送状況の推移 …… 33
12．要保護傷病者搬送状況の推移 …… 34

救 急 安 心 セ ン タ ー お お さ か

１．救急安心センターおおさか利用状況 …… 37
２．医療機関案内の診療科目別状況 …… 38

３．救急医療相談状況 ……39

統　計　表

（参考）　事故種別区分表 ……42
第１表　事故種別救急活動状況 ……43
第２表　隊別救急活動状況 ……44
第３表　月別救急活動状況 ……46
第４表　月別出場件数及び搬送人員 ……47
第５表　行政区別救急活動状況 ……48
第６表　平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員 ……50
第７表　曜日別、時間別出場件数及び搬送人員 ……52
第８表　事故種別出場件数及び搬送人員 ……54
第９表　日別出場件数 ……55
第10表　発生場所別救急活動状況 ……56
第11表　活動区分別出場件数 ……57
第12表　理由別不搬送件数 ……57
第13表　医療機関開設主体別搬送人員 ……58
第14表　傷病程度別搬送人員 ……59
第15表　診療科目別搬送人員 ……59
第16表　傷病種別搬送状況 ……60
第17表　年齢層別搬送人員 ……62
第18表　性別、事故種別搬送人員 ……62
第19表　所要時間別搬送人員 ……63
第20表　転院搬送人員 ……63
第21表　理由別転院搬送人員 ……63
第22表　診療科目別転送状況 ……64
第23表　理由別転送回数 ……64
第24表　回数別転送状況 ……64
第25表　要保護傷病者搬送状況 ……65
第26表　救急車走行距離及び所要時間 ……66
第27表　覚知方法別受信件数 ……68
第28表　ＰＡ連携活動支援種別状況 ……68
第29表　他市町村との協力状況 ……68
第30表　応急手当普及啓発の実施状況 ……68
第31表　救急活動状況の推移 ……69
第32表　年別救急活動状況 ……70

参　考　資　料

昭和 50 年以降の特異救急事故 ……73
大阪市消防（救急関連）のあゆみ ……75

※数値は、少数点第２位を四捨五入しており、内訳の合計が異なる場合があります。

救　急　体　制　等

１．救急体制の現況

大阪市の推計人口（令和５年12月１日）

人　　口	２，７７３，４１３人
面　　積	２２５．３３ｋ㎡

救急業務実施体制（令和６年３月１日）

救　急　隊　数	７２隊
救　急　隊　員	７１９人

救急活動状況（令和５年中）

出　場　件　数	２６３，０８９件
搬　送　人　員	２０９，１１０人

当局では、救急部救急課において、救急業務に係る企画及び調査に関すること、救急隊の運用に関すること、救急医療機関等との連絡調整に関すること、予防救急や応急手当の普及啓発に関すること、救急車及び救急資器材に関することなど、救急に関する事務を所管し、救急事案の通報の受信、出場指令、その他救急活動に関する管制業務は警防部司令課が所管している。

救急隊は、令和６年３月１日現在、消防局、25消防署、26出張所に72隊を配置して、市民の救急要請に応えるとともに、救急救命士の計画的な養成を行い、全救急隊に常時乗車する体制を確立し、平成29年６月から、消防隊が行う救急隊との連携活動（PA連携活動）に、心肺機能停止傷病者の救急要請時に自動体外式除細動器（AED）を積載する消防隊が救急隊と同時出場し、早期の電気ショックを含む応急処置の実施及び救急隊の救急救命処置を支援する活動（救命連携活動）を加えることによって救急活動の充実強化を図り、救命効果の向上を目指す体制を構築した。

さらに、救急救命士の活動や拡大された応急処置等を的確に実施するため、常に最新の救急資器材の整備や見直しに努めている。

２．救急医療体制の現況

市内の救急医療体制は、外来診療によって救急患者の医療を担当する初期救急医療機関、入院治療を必要とする救急患者の医療を担当する二次救急医療機関、複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する三次救急医療機関により構成されている。

【初期救急医療機関】　　７か所

・大阪市中央急病診療所、休日急病診療所（６か所）

【二次救急医療機関】　　92 か所

・救急病院、救急診療所

【三次救急医療機関】　　６か所

・救命救急センター

※二次・三次救急医療機関の内、５医療機関が「二次救急医療機関かつ三次救急医療機関」であり、大阪市内の二次・三次救急医療機関数は 93 医療機関となる。（16 ページ表３参照）

３．救急医療情報

救急医療情報は、昭和 54 年度から大阪府救急医療情報システムと当局の「消防指令情報システム」が接続されたことにより、医療機関に設置された大阪府救急医療情報システムの端末機から入力された医療情報を、中継コンピューターを介して当局のシステムに導入し、活用している。

その情報内容は、診療科目（30 科目）ごとの診療可否状況、男女別空床の有無及び手術の可否状況であり、医療機関が診療態勢変更のつど入力することで最新の情報を得ることができる。

大阪市内の医療情報は端末機が設置されている市内の 93 医療機関をはじめ、大阪府内全域の主要な医療機関を含めた、285 医療機関の情報を入手している。

また、救急隊は平成 25 年２月より、スマートフォンを活用し、大阪府内で統一された「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」の運用を行っており、医療機関情報をリアルタイムで入手して活動している。

４．救急隊員の教育等

当局における救急隊員の養成は、救急業務法制化当時から行ってきたが、平成３年の救急救命士法の施行及び消防学校の教育訓練の基準等の一部改正に伴い、救急隊員教育の充実を図っている。

また、救急隊員教育の更なる充実を図るため、大阪府医師会をはじめとする関係機関の協力のもと、平成 15 年２月に大阪市地域メディカルコントロール協議会（現：大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会）が発足し、救急救命士養成教育や生涯教育、救急活動の事後検証体制などの救急隊員教育全般の整備を図り、充実強化に努めている。特に、救急救命士の生涯教育については、単位制を導入し病院実習を中心に救急専門医の指導のもと、症例検討会、集中講義、救急救命技術研修会等を実施している。

⑴ 救急教育実施状況（令和５年度中　※修了見込み人員を含む）

ア　救急隊員資格教育　167 名

イ　救急救命士資格取得教育（養成期間：令和５年９月～令和６年３月）

（他都市の救急隊員 68 名を含む）　98 名

ウ　気管挿管病院実習　12 名

エ　ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習　22 名

⑵ 救急救命士等の隊員教育（令和５年度中）

ア　症例検討会（12 か所の救急医療機関で実施）

イ　集中講義（５回）

ウ　生涯教育病院実習（日勤）

（１年間で日勤２日間の病院実習を６か所の救急医療機関で実施）

エ　生涯教育病院実習（日勤・ドクターカー）

（１年間で日勤２日間のドクターカー同乗研修を含む病院実習を１か所の救急医療機関で実施）

オ　救急救命技術研修会

カ　学術集会等への参加

（全国救急隊員シンポジウム、日本臨床救急医学会、近畿救急医学研究会等への参加）

キ　指導救命士による実地研修（On the Job Training）

ク　指導救命士による救急隊員研修（集合研修）

５．救急救命士制度の運用

当局では、平成４年７月１日に41名の救急救命士が活動を開始し、令和６年３月１日現在、救急救命士数は636名となっている。うち、489名の救急救命士が救急隊員として救急業務に従事しており、全救急隊に救急救命士が常時乗車する体制としている。

また、救急救命士法施行規則等関係法令の一部改正に伴い、救急救命処置のなかでも特に高度な処置である気管内チューブによる気道確保については平成16年７月から、薬剤（アドレナリン）投与については平成18年４月から、所管省庁通知に定められた講習及び病院実習を修了する等の諸条件を満たした救急救命士が、医師の具体的指示下で行えることとなった。

令和６年３月１日現在、薬剤（アドレナリン）投与を行うことが認定された救急救命士は580名、そのうち351名は気管内チューブによる気道確保も行えるものとして認定されている。

さらに、平成26年10月から、必要な講習を受けた救急救命士により、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を実施しており、537人の救急救命士が認定されている。

(1)　救急救命士が行う救急救命処置

ア　救急隊員であれば行うことができる処置

イ　医師の包括的な指示の下で行うことができる処置

○　自動体外式除細動器（AED）による除細動

○　自己注射が可能なエピペン®製剤によるエピペン®投与

○　血糖測定器を用いた血糖測定　など

ウ　医師の具体的な指示の下で行うことができる処置

（ア）心肺機能停止状態の傷病者に対して行う処置

○　乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液

○　食道閉鎖式エアウェイ、ラリンゲアルマスクまたは気管内チューブによる気道確保（ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管を含む）

※食道閉鎖式エアウェイまたはラリンゲアルマスクによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が呼吸機能停止状態又は心臓機能停止の状態であること。また、気管内チューブによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止状態及び呼吸機能停止の状態であること。

○　アドレナリンを用いた薬剤の投与

※アドレナリンを用いた薬剤の投与は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止の状態であること。

（イ）心肺機能停止前の傷病者に対して行う処置

○　重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液

○　低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

（ウ）指示医療機関

○大阪市立総合医療センター

○大阪公立大学医学部附属病院

○大阪急性期・総合医療センター

○大阪赤十字病院

○大阪警察病院

○国立病院機構大阪医療センター

○大阪大学医学部附属病院

(2)　メディカルコントロール体制

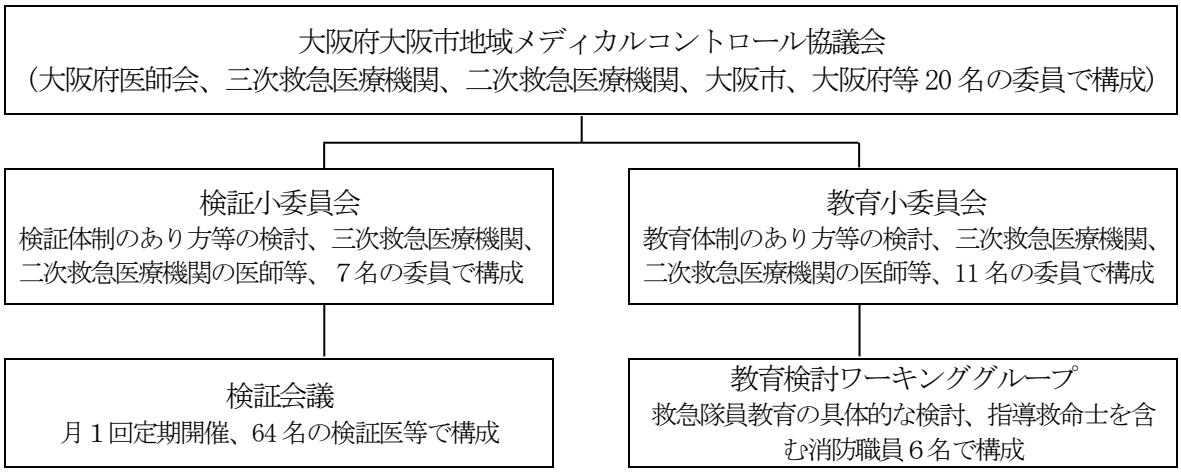
メディカルコントロールとは、医学的な観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証することを言い、応急処置の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等、大阪市域における救急業務の更なる高度化を図ることにより、傷病者の救命効果の向上を目指すものである。そのために、当局では次の４つの項目を整備し、メディカルコントロールの確立を図っている。

① プロトコルの作成

② 医師から救急隊員に対する指示、指導・助言体制

③ 医師による救急活動の医学的な観点からの事後検証体制

④ 救急救命士の生涯教育体制



６．指導救命士制度の運用

指導救命士とは、救急業務に関する十分な知識、技術及び経験を有し、医療と連携を図り救急隊員教育を行うことができる救急救命士として、大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会から認定を受けた者である。また、メディカルコントロール体制の中で、救急救命士を含む救急業務に従事する職員への教育・指導、メディカルコントロール協議会及び医療機関との調整等の役割を担い、救急業務全体の質の向上に寄与している。当局では、平成 29 年５月から運用を開始し、令和６年３月１日現在、18 名の指導救命士が活動している。

７．応急手当の普及啓発

(1) 応急手当普及啓発実施状況

当局では、平成６年度から傷病者の救命効果の向上を図るため、普通救命講習（３時間)、上級救命講習（８時間）及び応急手当普及員講習（24 時間）の講習会を開催し、応急手当に関する知識と技術の普及啓発を実施している。

応急手当の着手率アップが救命率向上に有用であることから、受講しやすい体制を整備することや、受講者のすそ野を広げ（概ね 10 歳以上)、幅広い年代層が繰り返し応急手当を学べる環境をつくることを目指して、胸骨圧迫や AED に要点を絞った「救命入門コース（90 分)」を平成 24 年 11 月から開始し、さらに、パソコンやスマートフォンの画面を操作することで、応急手当の知識や手順を学べる体験型アプリを作成し、平成 24 年 10 月から WEB 公開（令和５年 12 月末で延べ約 3,600 万アクセス）するなど、積極的な普及啓発活動に努めている。

【WEB サイト『ボジョレーに教わる救命ノート』 https://www.119aed.jp】

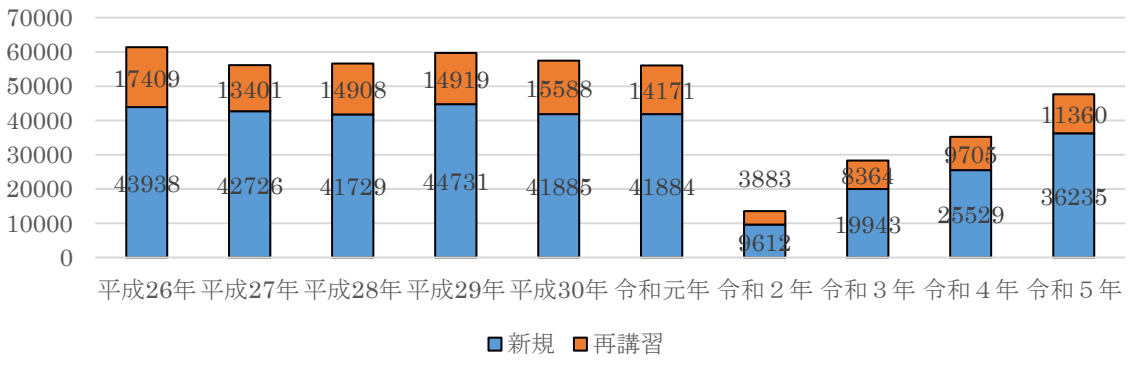
令和５年中　応急手当講習実施状況

講　習　種　類	実施回数(回)	新規(人)	再講習(人)	年中延べ(人)	延受講者(人)
計	**2,756**	**36,235**	**11,360**	**47,595**	**1,335,633**
救命入門コース	369	7,833	－	7,833	66,084
普通救命講習	1,237	14,557	5,978	20,535	880,048
上級救命講習	74	1,076	191	1,267	34, 210
応急手当普及員講習	31	518	－	518	16,452
応急手当普及員再講習	64	－	1,092	1,092	22,336
応急手当普及員が実施した講習	979	12,132	4,099	16,231	310,422
応急手当指導員講習	2	119	－	119	6,081

※年中延受講者数は、再受講者等を含む。

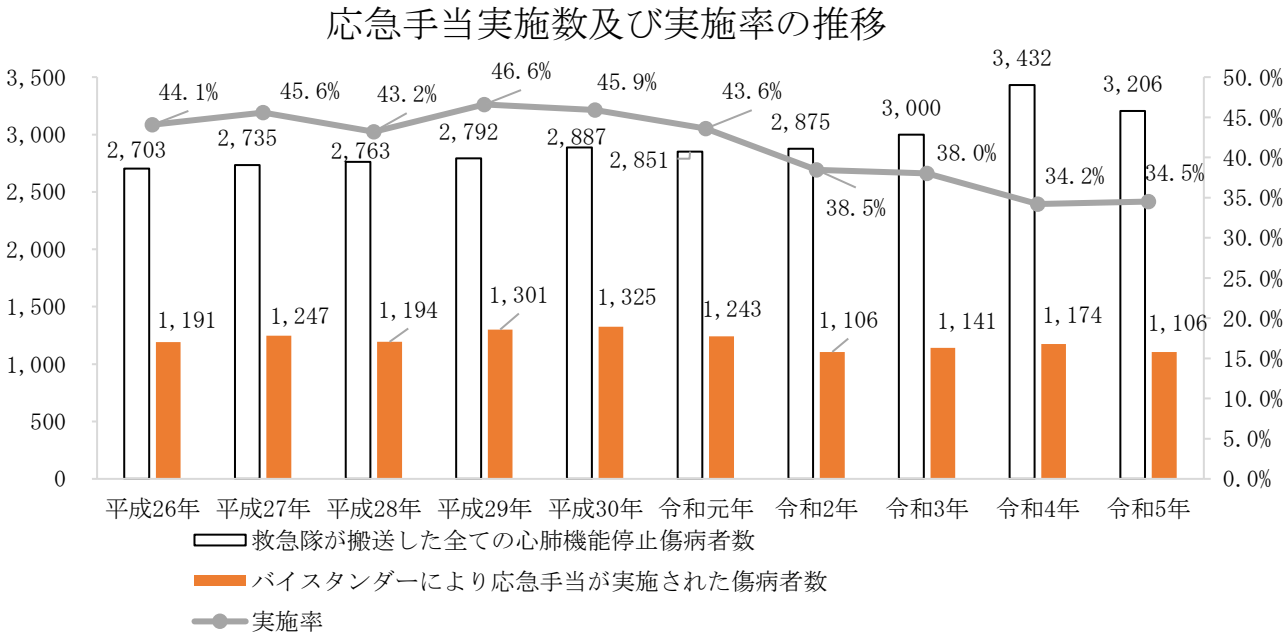
※延受講者数は平成６年４月１日から令和５年 12 月末までの総受講者数。

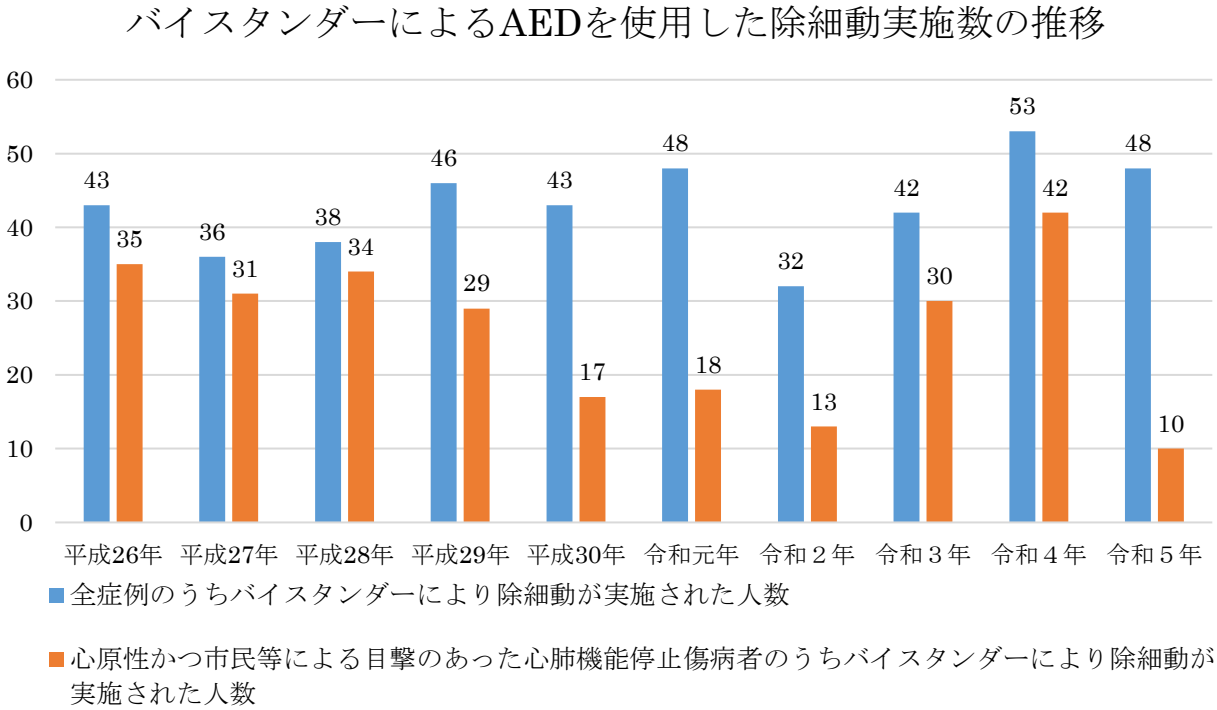
過去10年間における応急手当講習修了者数の推移



(2)　応急手当実施率

心肺機能停止傷病者の救命においては、救急隊が到着するまでの間に、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）により早期に応急手当が実施されることが重要である。令和５年中にバイスタンダーによる応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者の 34.5%に当たる 1,106 人となっている。

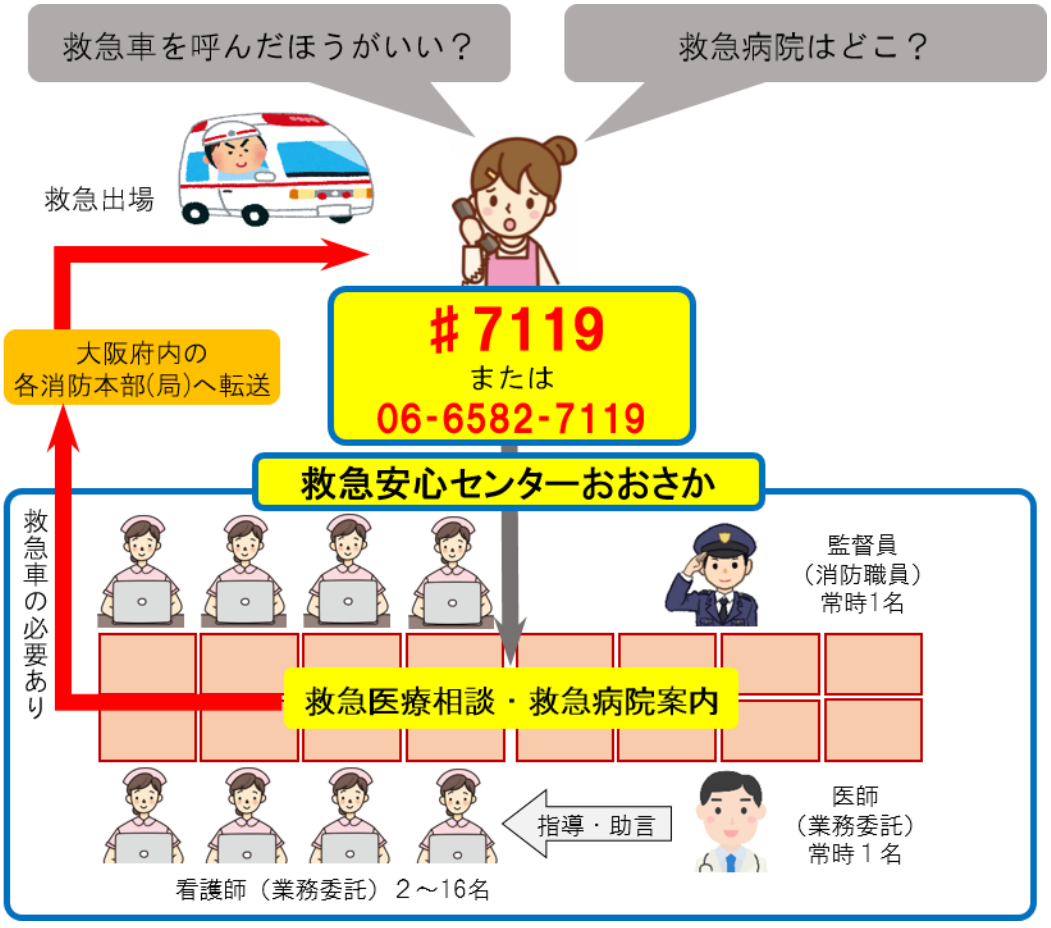




８．救急安心センターおおさか

救急安心センターおおさかは、突然の病気やケガで、救急車を呼んだ方がいいのか？病院に行った方がいいのか？近くの病院はどこ？応急手当の方法は？など、判断に迷ったときにアドバイスを受けることができる電話相談窓口として、平成 21 年 10 月 1 日から大阪市消防局内に開設し、平成 22 年 12 月 1 日以降は、大阪府内全市町村の共同運営によって対象地域を大阪府内全域に拡大している。

救急安心センターおおさかでは、専用電話回線（＃7119 または、06-6582-7119）により、大阪府域住民からの救急医療相談及び医療機関等の問合せに、開設以来、相談員及び看護師が医師の支援体制のもと 24 時間 365 日体制で対応してきたが、年々増加する救急医療相談に適切に対応するため、令和２年４月からはすべての着信に看護師が直接対応する体制に改めた。それにより相談時間が短縮され、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援することによって、自覚症状の乏しい潜在する重症者を救護し、一人でも多くの住民に安全・安心を提供している。



９．小児救急支援アプリ

大切なお子様が突然の病気やケガをした場合に、市民が自ら緊急性の判断をできるようなシステムを構築することを目的に、次の関係機関と共同でスマートフォン専用の無料アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を研究・開発し、大阪市内を対象地域として、平成 27 年９月９日から運用を開始した。

その後、平成 28 年３月１日から iPhone 版の運用を開始し、平成 28 年４月１日からは、救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大している。

このアプリの特長としては、「救急車を呼んだ方がいい？」「近くの医療機関はどこ？」など困ったときに、アプリ画面に表示される症状をチェックすることで誰でも簡単に「緊急性」を判断することができ、緊急性が高い場合は 119 番通報を、また 119 番通報をためらった場合でも救急安心センターおおさかへ相談するよう促すなど利用者が次に取るべき受診行動に素早く誘導することができるというものである。さらに、緊急性が低い場合でも、症状に応じた近くの医療機関（大阪府内）を地図に表示して案内することができるものである。

（利用料無料、通信料別途必要）

＜共同研究・開発機関＞

◇　大阪大学医学部　　◇　大阪市立大学医学部

◇　大阪市消防局　救急部救急課

〔平成 27 年度（一財）救急振興財団研究事業〕

利用状況（平成 27 年９月９日～令和５年 12 月 31 日）

ダウンロード数	アクセス数	アクセス後の行動内容						
		119 番	#7119	#8000	医療機関検索	科目検索	様子をみる	合計
56,029	175,100	398	9,108	91	29,930	5,001	6,860	51,388

※「アクセス数」と「アクセス後の行動内容」の合計が一致しないのは、利用者がアクセスはしたものの、表記カテゴリーのボタンを押下する前に、アプリ操作を終了したことが原因であると推測される。

10．救命サポートアプリ

心肺停止事案に遭遇した時に、ためらわずに正しい応急手当を実施できるように、その行動をサポートするツールがあればという職員の発案から生まれた無料アプリで、平成 30 年４月から Android 版、同年６月から iOS 版の運用を開始した。

アプリをスマートフォンにダウンロードしておくと、２タップで動画が再生され、映像と

音声で応急手当の方法を案内してくれるので、画面を見ながら正しい応急手当を実施することができる。

成人、小児、乳児と３バージョンの動画があり、応急手当を行う対象者によって選択が可能である。

11. 予防救急

予防救急とは、高齢化の進展にともない救急件数が増加している中、安全だと思いがちな家庭内での転倒・転落によるケガや熱中症などの疾病を、「少しの注意と心がけ」で未然に防ぐことを目的としている。そのために救急隊の救急活動記録等のデータを分析し、発生原因や傾向、予防策を導き、ラジオや新聞をはじめとする様々な媒体や、救命講習会、防火訪問などの機会を通じて市民に情報提供し、さらなる安心・安全を推進する施策であり、あわせて救急出場件数の抑制も図っている。

12. 患者等搬送事業の認定と指導

患者等搬送事業は、救命処置など緊急性を必要とする消防の救急とは異なり、原則として緊急性を必要としない傷病者や障がい者、高齢者などに対し、民間の事業者が搬送用自動車を使用して移動手段を提供する事業である。

平成５年６月、当局は患者等の安全を確保するため、「患者等搬送事業の指導及び認定に関する要綱」を定めて、消防機関との連絡体制、乗務員に対する応急手当の講習、患者等搬送用自動車の構造など、一定の基準に適合する患者等搬送事業の認定を行うとともに必要な指導にあたっており、令和５年 12 月末現在、26 社を認定している。

なお、当局が認定した上記の事業所が利用者の安全とサービスの向上を目指して、平成６年 11 月１日に「大阪市患者等搬送事業者協会」を設立し、現在は３社が加盟している。

また、平成８年８月 29 日に当局と同協会の間で、「震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定書」を締結し、大規模災害時の搬送体制の強化を図っている。

13. 関係機関等との協調

救急業務の円滑な推進を図るためには、消防機関、医療機関、他の行政機関等が一体となって協調することが必要である。

当局では、「大阪府救急医療対策審議会」、「大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会」「大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会」等に参画して、救急医療体制の整備及び、救急救命士をはじめとする救急隊員の教育等を検討する一方、大阪府医師会、大阪市救急医療事業団、日本赤十字社大阪府支部、その他関係機関と常に連絡調整を図っている。

図1　救急医療情報システム概要図

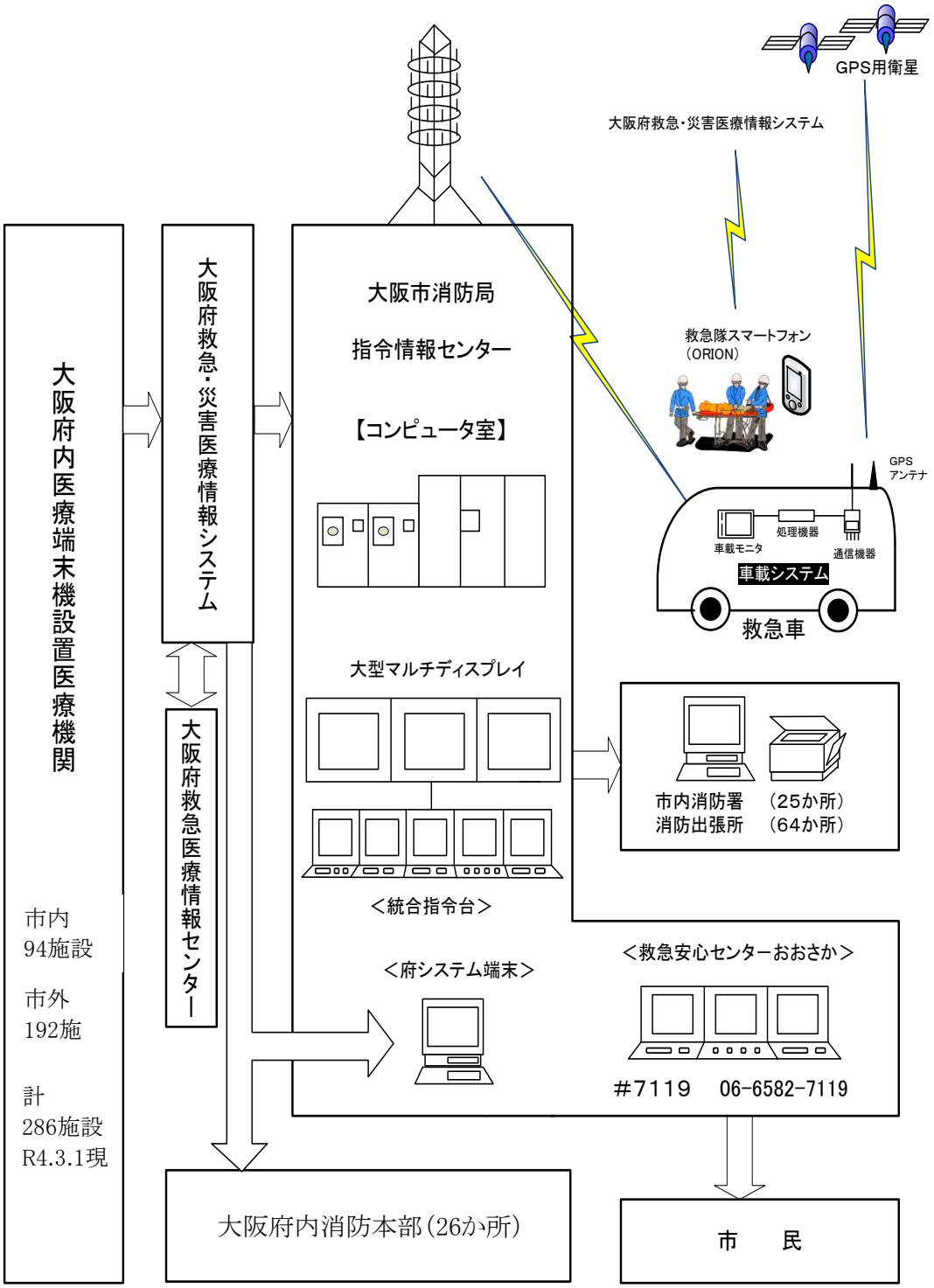


表1

救急隊配置状況(令和6年3月1日現在)

救急隊名	配置署所	救急隊名	配置署所
本部指導第1救急隊	消防局	東成第1救急隊	東成消防署
本部指導第2救急隊	消防局　九条庁舎	東成第2救急隊	〃
本部機動第1救急隊	〃	生野救急隊	生野消防署
本部機動第2救急隊	福島消防署　上福島出張所	中川救急隊	〃　中川出張所
北救急隊	北消防署	巽救急隊	〃　巽出張所
南森町第1救急隊	〃　南森町出張所	旭第1救急隊	旭消防署
南森町第2救急隊	〃　南森町出張所	旭第2救急隊	〃
浮田救急隊	〃　浮田出張所	城東第1救急隊	城東消防署
大淀町救急隊	〃　大淀町出張所	城東第2救急隊	〃
都島第1救急隊	都島消防署	中浜救急隊	〃　中浜出張所
都島第2救急隊	〃	鶴見第1救急隊	鶴見消防署
東野田救急隊	〃　東野田出張所	鶴見第2救急隊	〃
福島救急隊	福島消防署	阿倍野第1救急隊	阿倍野消防署
海老江救急隊	〃　海老江出張所	阿倍野第2救急隊	〃
此花第1救急隊	此花消防署	阪南救急隊	〃　阪南出張所
此花第2救急隊	〃	住之江第1救急隊	住之江消防署
中央救急隊	中央消防署	住之江第2救急隊	〃
道頓堀救急隊	〃　道頓堀出張所	南港救急隊	〃　南港出張所
上町救急隊	〃　上町出張所	住吉第1救急隊	住吉消防署
西救急隊	西消防署	住吉第2救急隊	〃
江戸堀救急隊	〃　江戸堀出張所	苅田救急隊	〃　苅田出張所
新町救急隊	〃　新町出張所	東住吉第1救急隊	東住吉消防署
港救急隊	港消防署	東住吉第2救急隊	〃
大正救急隊	大正消防署	杭全救急隊	〃　杭全出張所
天王寺第1救急隊	天王寺消防署	平野第1救急隊	平野消防署
天王寺第2救急隊	〃	平野第2救急隊	〃
浪速本署第1救急隊	浪速消防署	長吉救急隊	〃　長吉出張所
浪速本署第2救急隊	〃	喜連救急隊	〃　喜連出張所
恵美須救急隊	〃　恵美須出張所	西成第1救急隊	西成消防署
浪速出張所救急隊	〃　浪速出張所	西成第2救急隊	〃
西淀川救急隊	西淀川消防署	海道第1救急隊	〃　海道出張所
大和田救急隊	〃　大和田出張所	海道第2救急隊	〃　海道出張所
淀川第1救急隊	淀川消防署	津守救急隊	〃　津守出張所
淀川第2救急隊	〃	水上救急隊	水上消防署
加島救急隊	〃　加島出張所		
東淀川救急隊	東淀川消防署		
小松救急隊	〃　小松出張所		
西淡路救急隊	〃　西淡路出張所		

表2

救急活動用資器材

分　類	品　　名
観察用資器材	血圧計
	血中酸素飽和度測定器
	検眼ライト
	患者監視装置
	体温計
	聴診器
	血糖値測定器
呼吸・循環管理用資器材	手動引金式人工呼吸器一式
	手動式人工呼吸器一式
	自動式人工呼吸器一式
	二連式流量計付加湿酸素吸入装置一式
	経鼻エアウェイ
	経口エアウェイ
	ラリンゲアルマスク
	食道閉鎖式エアウェイ
	気管内チューブ
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡
	喉頭鏡
	マギール鉗子
	吸引器一式
	呼気二酸化炭素測定器具
	自動式心肺蘇生器
	心肺蘇生用背板
	自動体外式除細動器
	輸液・薬剤セット一式
創傷等保護用資器材	陰圧副子
	梯状副子
	頸部固定用副子
	バックボード
	スクープストレッチャー
	三角巾
	止血帯
	伸縮包帯
	網包帯
	救急タオル
	ばんそうこう
	ターニケット
	滅菌ガーゼ
	不織布ガーゼ
	生理食塩水

分　類	品　　名
保温・搬送用資器材	屈折担架
	脚屈伸式ストレッチャー（メインストレッチャー）
	ターポリン担架
	まくら
	タオルケット
	保温用毛布
	雨おおい
感染防止	陰圧式患者搬送器具一式
	手袋
	マスク
	N95マスク
	ゴーグル
消毒用資器材	手動式噴霧消毒器
	救急車内消毒装置
	グルコン酸クロルヘキシジン液
	消毒用エタノール液
	塩化ベンザルコニウム液
	クレゾール石けん液
	次亜塩素酸ナトリウム液
	手指消毒液
その他の資器材	膿盆
	汚物入
	手洗器
	シューズカバー
	臍帯クリップ
	冷却剤
通信・救出用資器材	携帯無線機
	車載無線機
	携帯電話（スマートフォン端末）
	救命浮環
その他の資器材	救急カバン
	リングカッター
	防毒マスク
	保安帽
	防刃ベスト
	トリアージタッグ
	はさみ
	ピンセット

表3

二次・三次救急医療機関（令和6年3月１日現在）

医療機関	所在地	医療機関	所在地
北区		内藤病院	九条1-15-23
加納総合病院	天神橋7-5-15		
北野病院	扇町2-4-20	港区	
済生会中津病院	芝田2-10-39	大阪みなと中央病院	磯路1-7-1
桜橋渡辺未来医療病院	梅田2-4-32		
住友病院	中之島5-3-20	大正区	
行岡病院	浮田2-2-3	済生会泉尾病院	北村3-4-5
医誠会国際総合病院	南扇町4-14	ほくとクリニック病院	三軒家西1-18-7
都島区		天王寺区	
□大阪市立総合医療センター	都島本通2-13-22	第二大阪警察病院	烏ヶ辻2-6-40
神原病院	高倉町1-10-5	◇大阪警察病院	北山町10-31
協和病院	東野田町5-2-25	◇大阪赤十字病院	筆ヶ崎町5-30
聖和病院	中野町1-7-32		
明生病院	東野田町2-4-8	浪速区	
		愛染橋病院	日本橋5-16-15
福島区		富永病院	湊町1-4-48
JCHO大阪病院	福島4-2-78	なにわ生野病院	大国1-10-3
関西電力病院	福島2-1-7		
大阪整形外科病院	大開4-3-61	西淀川区	
フジタ病院	吉野2-10-11	千船病院	福町3-2-39
えびえ記念病院	海老江2-1-36	西淀病院	野里3-5-22
此花区		淀川区	
大阪暁明館病院	西九条5-4-8	大阪回生病院	宮原1-6-10
		貴生病院	西三国1-18-4
中央区		北大阪病院	西宮原2-7-17
◇国立病院機構大阪医療センター	法円坂2-1-14	十三市民病院	野中北2-12-27
大手前病院	大手前1-5-34		
脳神経外科日本橋病院	高津3-2-22	東淀川区	
原田病院	島之内2-17-15	淀川キリスト教病院	柴島1-7-50
高津病院	瓦屋町3-2-7		
		東成区	
西区		外科野崎病院	深江南2-20-15
大阪掖済会病院	本田2-1-10	弘善会矢木脳神経外科病院	東今里2-12-13
大野記念病院	南堀江1-26-10	中本病院	中道4-13-12
多根総合病院	九条南1-12-21	東成病院	大今里西2-7-17
日本生命病院	江之子島2-1-54	朋愛病院	大今里1-25-11
吉川病院	九条南3-29-14		

（注）□印は、三次救急医療機関
◇印は、二次救急医療機関かつ三次救急医療機関

医　療　機　関	所　在　地	医　療　機　関	所　在　地
生野区		住吉区	
アエバ外科病院	勝山南4-6-5	あびこ病院	我孫子3-3-20
生野中央病院	中川5-4-2	◇大阪急性期・総合医療センター	万代東3-1-56
育和会記念病院	巽北3-20-29	阪和記念病院	苅田7-11-11
共和病院	勝山南4-16-10	越宗整形外科病院	東粉浜3-26-6
松崎病院	新今里7-4-8		
村田病院	田島4-2-1	東住吉区	
		東住吉森本病院	鷹合3-2-66
旭区		東和病院	田辺4-13-15
大阪旭こども病院	新森4-13-17		
福島病院	千林2-4-22	平野区	
藤立病院	大宮5-4-24	植田産婦人科	平野宮町2-8-8
牧病院	新森7-10-28	正和病院	瓜破東1-5-5
		長吉総合病院	長吉長原 1-2-34
城東区		平野若葉会病院	瓜破2-1-19
済生会野江病院	古市1-3-25	緑風会病院	背戸口1-18-13
サトウ病院	東中浜1-2-23		
東大阪病院	中央1-7-22	西成区	
おおさかグローバル整形外科病院	関目6-15-30	杏林記念病院	天下茶屋1-18-24
森之宮病院	森之宮2-1-88	思温病院	松1-1-31
		大和中央病院	長橋1-2-7
鶴見区		愛壽記念病院	長橋3-6-45
藍の都脳神経外科病院	放出東2-21-16	山本第三病院	南津守4-5-20
コープおおさか病院	鶴見3-6-22	まちだ胃腸病院	山王1-1-15
新協和病院	今津南1-5-8		
本田病院	鶴見4-1-30		
和田病院	横堤3-10-18		
阿倍野区			
◇大阪公立大学医学部附属病院	旭町1-5-7		
相原第二病院	阿部野筋3-12-10		
大阪鉄道病院	松崎町1-2-22		
住之江区			
南港病院	北加賀屋2-11-15		
南大阪病院	東加賀屋1-18-18		
友愛会病院	浜口西3-5-10		
計　93　か所			

表4

初期救急医療機関

（令和5年4月1日現在）

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
中央急病診療所	西区新町4-10-13 TEL 6534－0321	内・小	休日 土(祝・年末年始除く) 平日	17～翌5:30 15～翌5:30 22～翌5:30
		眼・耳	休日 土(祝・年末年始除く) 平日	10～21:30 15～21:30 22～翌0:30
都島休日急病診療所	都島区都島南通1-24-23 TEL 6928－3333	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
西九条休日急病診療所	此花区西九条5-4-25 TEL 6464－2111	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
十三休日急病診療所	淀川区十三東1-11-26 TEL 6304－7883	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
今里休日急病診療所	東成区大今里西3-6-6 TEL 6972－0767	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
沢之町休日急病診療所	住吉区南住吉4-14-28 TEL 4700－7771	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
中野休日急病診療所	東住吉区中野2-1-20 TEL 6705－1612	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
		小	平日	20:30～23

表5

休日・夜間緊急歯科診療所

（令和5年4月1日現在）

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
大阪府歯科医師会口腔保健センター附属検査診療所休日緊急診療所	天王寺区堂ヶ芝1-3-27 TEL 6772-8886(9:30～16) TEL 6774-2600(21～翌3:00)	歯科	休日昼間 〃 夜間 土(祝・年末年始除く) 平日	9:30～16 21～翌3:00 21～翌3:00 21～翌3:00

表6

二次・三次救急医療機関の推移

（各年 3月1日現在）

年	救急医療機関
令和元年	94
令和2年	94
令和3年	94
令和4年	94
令和5年	93

救　　急　　活　　動

１．救急活動状況

(1) 救急活動状況の対前年比

令和５年中の出場件数は263,089件、搬送人員は209,110人で、前年に比べ出場件数は18,835件（7,7%増）の増加、搬送人員は22,854人（12,2%増）の増加となった。

区　　分	令和５年	令和４年	対前年比	１日当り
出　場　件　数	２６３，０８９	２４４，２５４	１８，８３５	７２０．８
搬　送　人　員	２０９，１１０	１８６，２５６	２２，８５４	５７２．９
医師搬送件数	４	１	３	０．０
資器材等輸送件数	０	０	０	０．０
不　搬　送　件　数	５４，６０６	５８,５８５	△3,９７９	１４９．６
市域内出場件数	２６３，０３２	２４４，２０２	１８，８３０	７２０．６
市域外出場件数	５７	５２	５	０．２

(2) 人口１万人当りの出場件数と搬送人員の推移

令和５年中に人口１万人当たりでは948.6件出場し、754.0人搬送している。これは、市民10.5人に１件出場し、13.3人に１人搬送したことになる。

年	出　場　件　数	搬　送　人　員
令和元年	８９４．５（１１．２人に１人　）	７４２．３（１３．５人に１人　）
令和２年	７９０．７（１２．７　〃　）	６４２．３（１５．６　〃　）
令和３年	７９３．２（１２．６　〃　）	６３５．５（１５．７　〃　）
令和４年	８８５．６（１１．３　〃　）	６７５．３（１４．８　〃　）
令和５年	９４８．６（１０．５　〃　）	７５４．０（１３．３　〃　）

２．事故種別救急活動状況

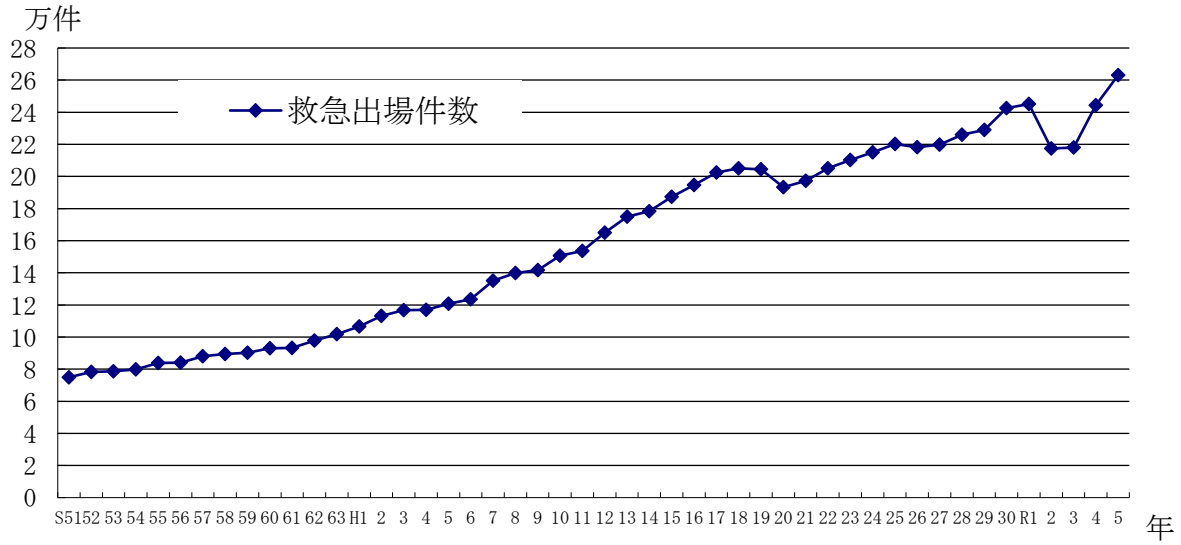
(1)　出場件数の対前年比

事故種別でみると、急病が183,841件と最も多く69.9%を占めており、次いで一般負傷43,930件(16.7%)、交通事故14,445件（5.5%）となった。なお、この３種別で242,216件出場し、全体の92.1%を占めている。

事故種別	令　和　５　年		令　和　４　年		対前年比	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
計	**263,089**	**209,110**	**244,254**	**186,256**	18,835	22,854
	100%	**100%**	**100%**	**100%**		
火災	798	186	711	139	87	47
	0.3%	0.1%	0.3%	0.1%		
自然災害	13	12	5	5	8	7
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
水難	81	21	83	25	△ 2	△ 4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
交通	14,445	11,393	13,160	10,420	1285	973
	5.5%	5.4%	5.4%	5.6%		
労働災害	1,661	1,607	1,544	1,491	123	116
	0.6%	0.8%	0.6%	0.8%		
運動競技	1,005	979	775	747	230	232
	0.4%	0.5%	0.3%	0.4%		
一般負傷	43,930	32,160	38,180	27,495	5,750	4,665
	16.7%	15.4%	15.6%	14.8%		
加害	2,114	1,146	1,987	1,089	127	57
	0.8%	0.5%	0.8%	0.6%		
自損行為	2,621	1,510	2,419	1,431	202	79
	1.0%	0.7%	1.0%	0.8%		
急病	183,841	148,288	174,334	133,033	9,507	15,255
	69.9%	70.9%	71.4%	71.4%		
その他	12,580	11,808	11,056	10,381	1,524	1,427
	4.8%	5.6%	4.5%	5.6%		

(2)　救急出場件数の推移

救急出場件数は、令和５年は前年比 7.7%増加し、263,089 件となった。

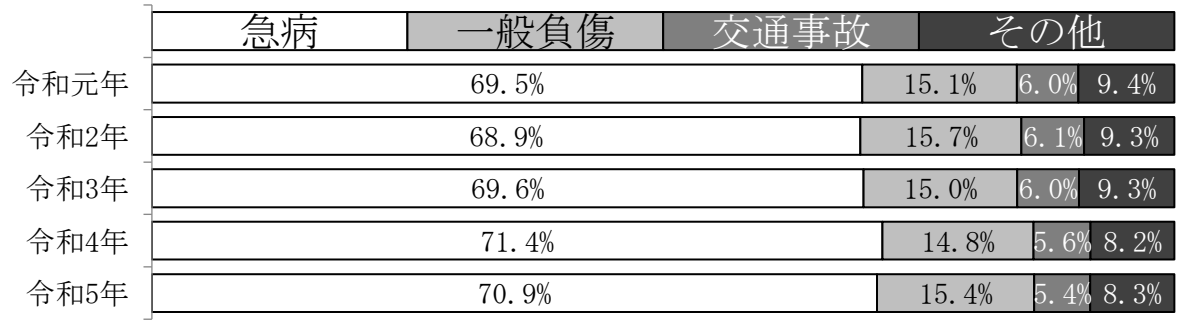


(3)　事故種別搬送人員の推移

年	出場件数(件)	搬送人員(人)	内訳(人) 急病	一般負傷	交通事故	加害	自損	火災	労働災害	運動競技	水難	自然災害	その他
令和元年	245,105	203,379	141,307	30,753	12,214	1,563	1,416	181	1,639	993	30	2	13,281
令和２年	217,430	176,633	121,756	27,664	10,741	1,382	1,419	160	1,300	568	23	9	11,611
令和３年	218,050	174,696	121,533	26,264	10,567	1,175	1,428	160	1,383	616	33	12	11,525
令和４年	244,254	186,256	133,033	27,495	10,420	1,089	1,431	139	1,491	747	25	5	10,381
令和５年	263,089	209,110	148,288	32,160	11,393	1,146	1,510	186	1,607	979	21	12	11,808

(4)　事故種別搬送人員構成比の推移

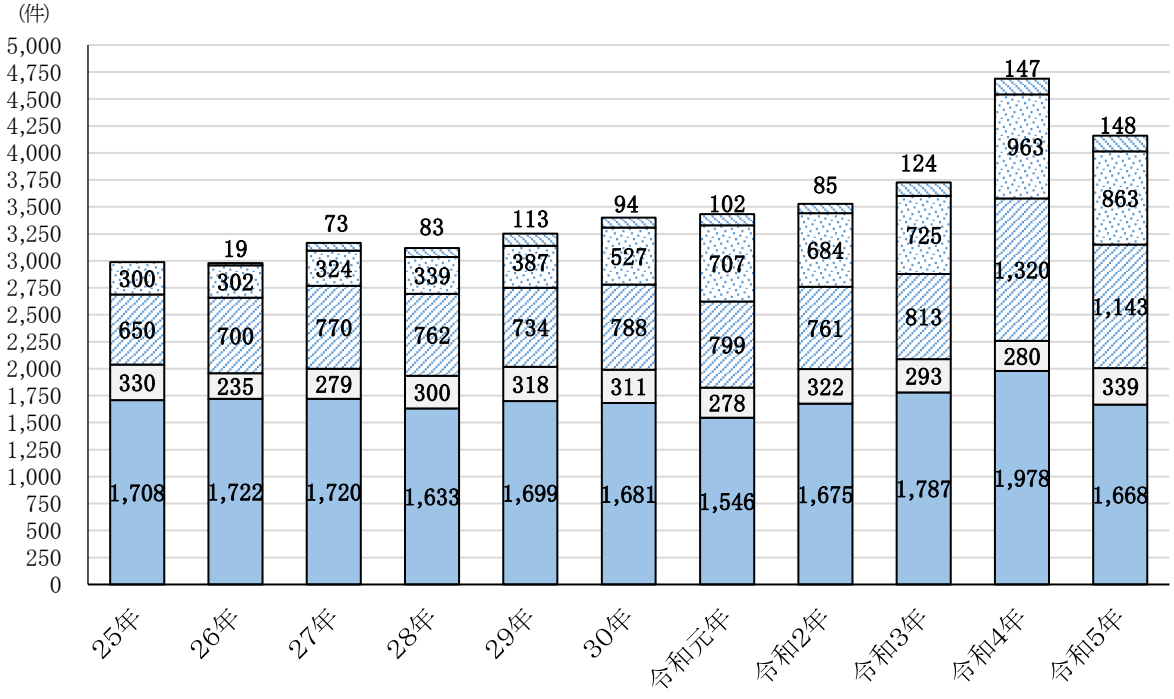
急病、一般負傷の割合が全体の 86.3%を占めている。



３．救急救命士活動状況と救命率

(1) 救急救命処置実施数の推移

令和５年中の「器具による気道確保」は1,668件、「除細動」は339件、「静脈路確保」は1,143件、「薬剤投与」は863件、「ブドウ糖投与」は148件、合計4,161件であった。



	計	器具による気道確保	除細動	静脈路確保	薬剤投与	ブドウ糖投与
平成２５年	２，９８８	１，７０８	３３０	６５０	３００	－
平成２６年	２，９７８	１，７２２	２３５	７００	３０２	１９
平成２７年	３，１６６	１，７２０	２７９	７７０	３２４	７３
平成２８年	３，１１７	１，６３３	３００	７６２	３３９	８３
平成２９年	３，２５１	１，６９９	３１８	７３４	３８７	１１３
平成３０年	３，４０１	１，６８１	３１１	７８８	５２７	９４
令和元年	３，４３２	１，５４６	２７８	７９９	７０７	１０２
令和２年	３，５２７	１，６７５	３２２	７６１	６８４	８５
令和３年	３，７４２	１，７８７	２９３	８１３	７２５	１２４
令和４年	４，６８８	１，９７８	２８０	１，３２０	９６３	１４７
令和５年	４，１６１	１，６６８	３３９	１，１４３	８６３	１４８

(2) 主な心肺機能停止前の救急救命処置実施状況

血糖測定器を用いた血糖測定　895 件

低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与　148 件

ショック及びクラッシュ症候群を疑う傷病者に対する静脈路確保及び輸液　47 件

(3) 心肺機能停止傷病者の生存率等の状況

令和５年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者のうち、心原性かつ市民により目撃のあった症例の１ヵ月後生存率は12.1%、１ヵ月後社会復帰率については7.9%となっている。

年	心原性かつ市民により目撃のあった心肺機能停止傷病者数（人）	１ヵ月後生存者数（人）	１ヵ月後生存率（%）	１ヵ月後社会復帰者数（人）	１ヵ月後社会復帰率（%）
平成２７年	７４４	１２２	１６．４	９４	１２．６
平成２８年	７５４	１０８	１４．３	８７	１１．５
平成２９年	７４１	１１９	１６．１	９１	１２．３
平成３０年	７６６	１２３	１６．１	８０	１０．４
令和元年	７５０	１１４	１５．２	７９	１０．５
令和２年	７３８	８４	１１．４	４７	６．４
令和３年	７４３	９５	１２．８	６５	８．７
令和４年	８４５	１１３	１３．４	８３	９．８
令和５年	７９６	９６	１２．１	６３	７．９

４．救急出場件数の高順位

救急出場件数については、救急隊別では、浮田救急隊の出場が 5,036 件と最多で、１日平均では 13.8 件出場している。

行政区別では、西成区が 20,068 件と最多であり、１日当りの出場件数は 55.0 件であった。また、各区の平均出場件数は、10,962 件であった。

日別では、8 月 16 日が 982 件と最多であり、１日当りの平均出場件数は 720.8 件であった。

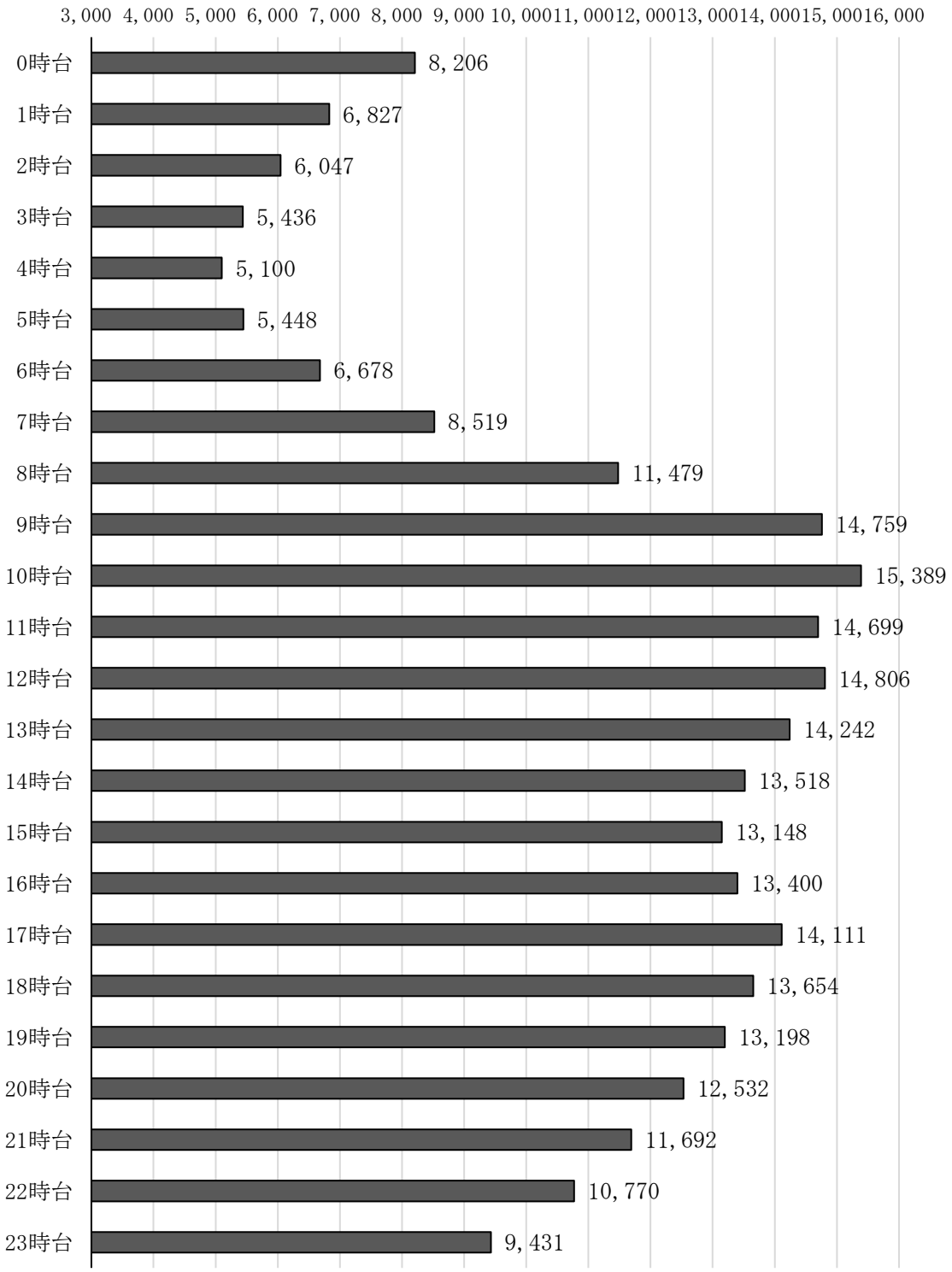
時間別では、10 時台が 15,389 件と最多で 1.5 分に１件の出場となっている。

区　　分	第１位	第２位	第３位	平均	備考
隊別出場件数	浮田	住之江１	北		第２表
	5,036 件	4,619 件	4,585 件	3,654 件	参　照
(1日当りの出場件数)	(13.8 件)	(12.7 件)	(12.6 件)	(10.0 件)	
行政区別出場件数	西成区	北区	平野区		第５表
	20,068 件	19,695 件	17,163 件	10,962 件	参　照
(1日当りの出場件数)	(55.0 件)	(54.0 件)	(47.0 件)	(30.0 件)	
日別出場件数	8月 16 日	12 月 30 日	8月 21 日		第９表
					参　照
	982 件	979 件	965 件	720.8 件	
時間別出場件数	10 時台	12 時台	9 時台		第６表
	15,389 件	14,806 件	14,739 件	10,962 件	参　照
(出場頻度)	(1.4 分に１件)	(1.5 分に１件)	(1.5 分に１件)	(2.0 分に１件)	

５．時間別出場件数

出場件数を時間別のグラフでみると、10 時台が最多となり、４時台が最少となっている。

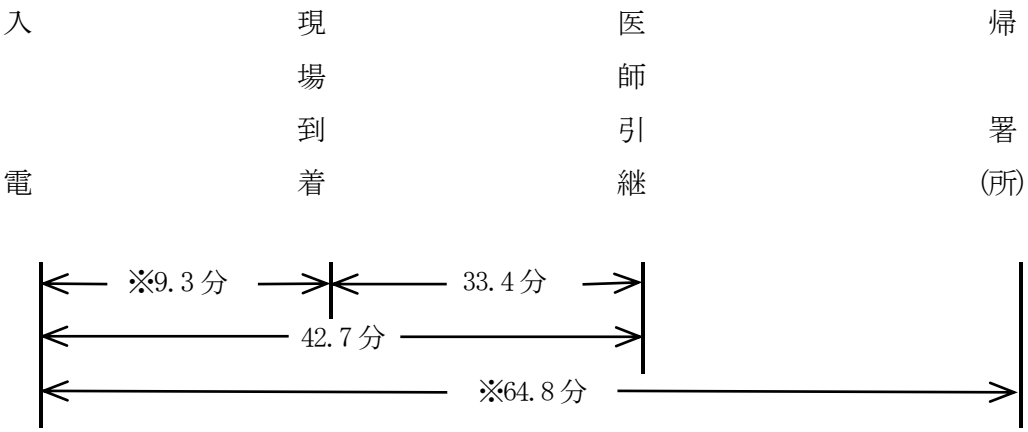
（単位：件）



６．救急活動所要時間

⑴ 入電から帰署までの平均所要時間

119 番入電から救急現場到着、搬送先医療機関の医師に引継ぐまでの活動所要時間はそれぞれ 9.3 分、33.4 分となっている。



※は不搬送を含みます

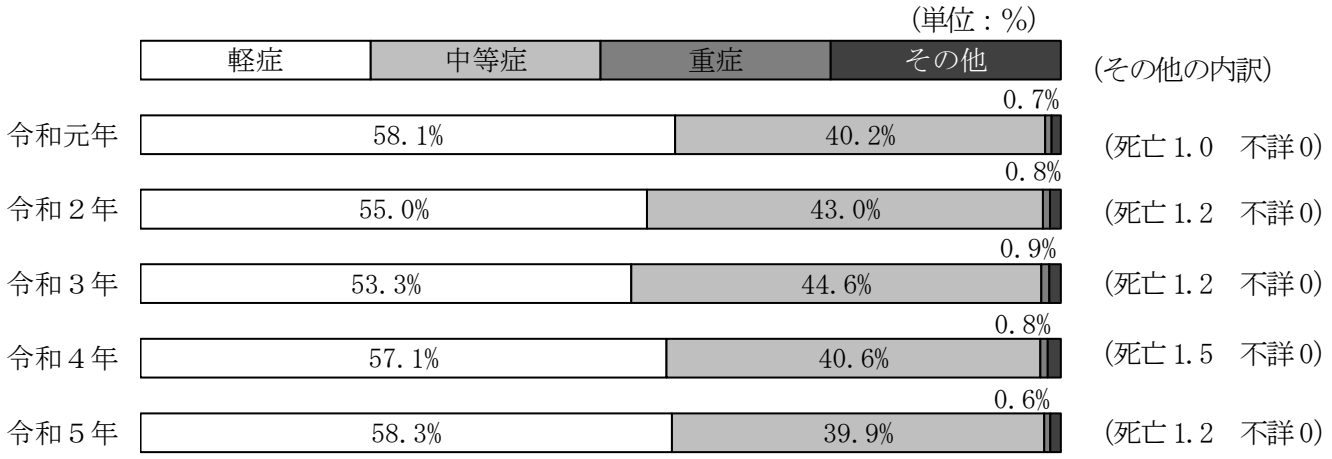
⑵ 救急車が出場してから病院に到着するまでの時間別構成比の推移

（単位：%）

年	20 分未満	20～29 分	30～59 分	60～119 分	120 分以上
令和元年	12.2	43.7	40.9	3.0	0.2
令和２年	3.2	33.2	57.3	5.9	0.5
令和３年	6.7	35.9	50.2	6.1	1.1
令和４年	3.8	27.2	56.2	10.5	2.3
令和５年	4.4	30.6	56.4	7.7	0.9

7．程度別搬送状況

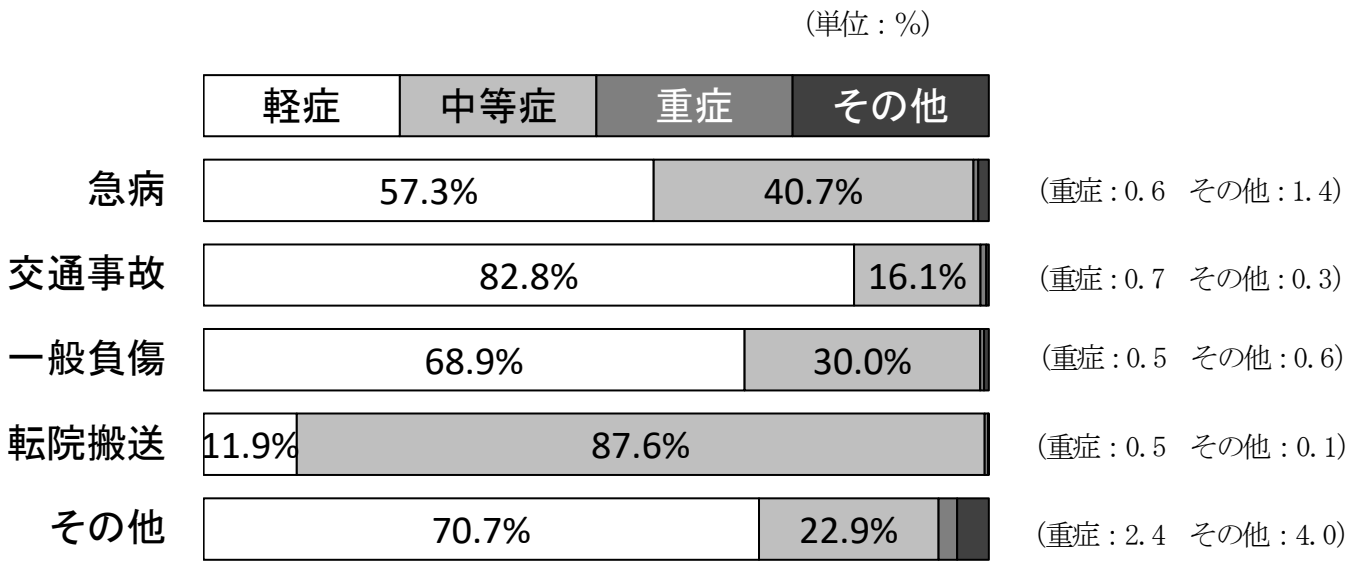
(1) 搬送人員構成比の推移



(2) 事故種別搬送人員の構成比

搬送人員を事故種別でみると、交通事故、一般負傷では軽症の割合が高く、それぞれ 82.8 %(9,439 人)、68.9%（22,160 人）を占めている。

一方、急病では軽症の割合は 57.3%（84,992 人）と交通事故、一般負傷に比べて低く、中等症については 40.7%（60,377 人）と高くなっている。



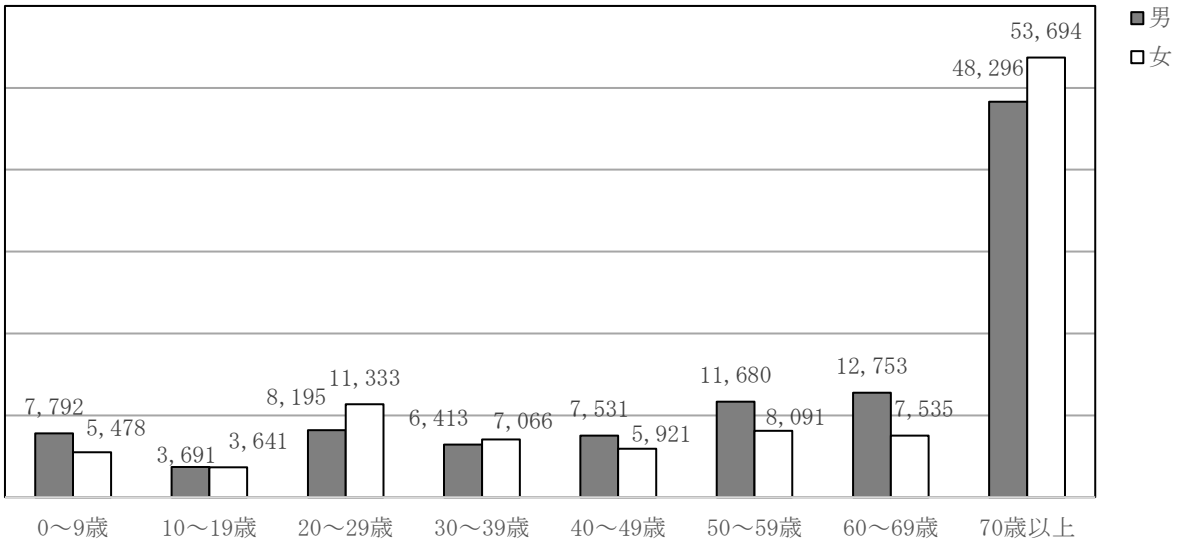
８．性別・年齢層別搬送状況

⑴ 性別・年齢層別搬送人員

搬送人員を性別でみると、男性が 106,351 人（50.9%）、女性が 102,759 人（49.1%）となり、60 歳代までは男性が多い傾向を示すが、70 歳以上では女性が多い。

年齢層の性別でみると、男性、女性共に 70 歳以上がそれぞれ 48,296 人（45.4%）、53,694 人（52.3%）と最も多くなっている。

（単位：人）



⑵ 搬送人員の年齢層別構成比の推移

搬送人員を年齢層別でみると、65 歳以上の高齢者の割合は 53.8%（112,565 人）となり、昨年より、増加となった。

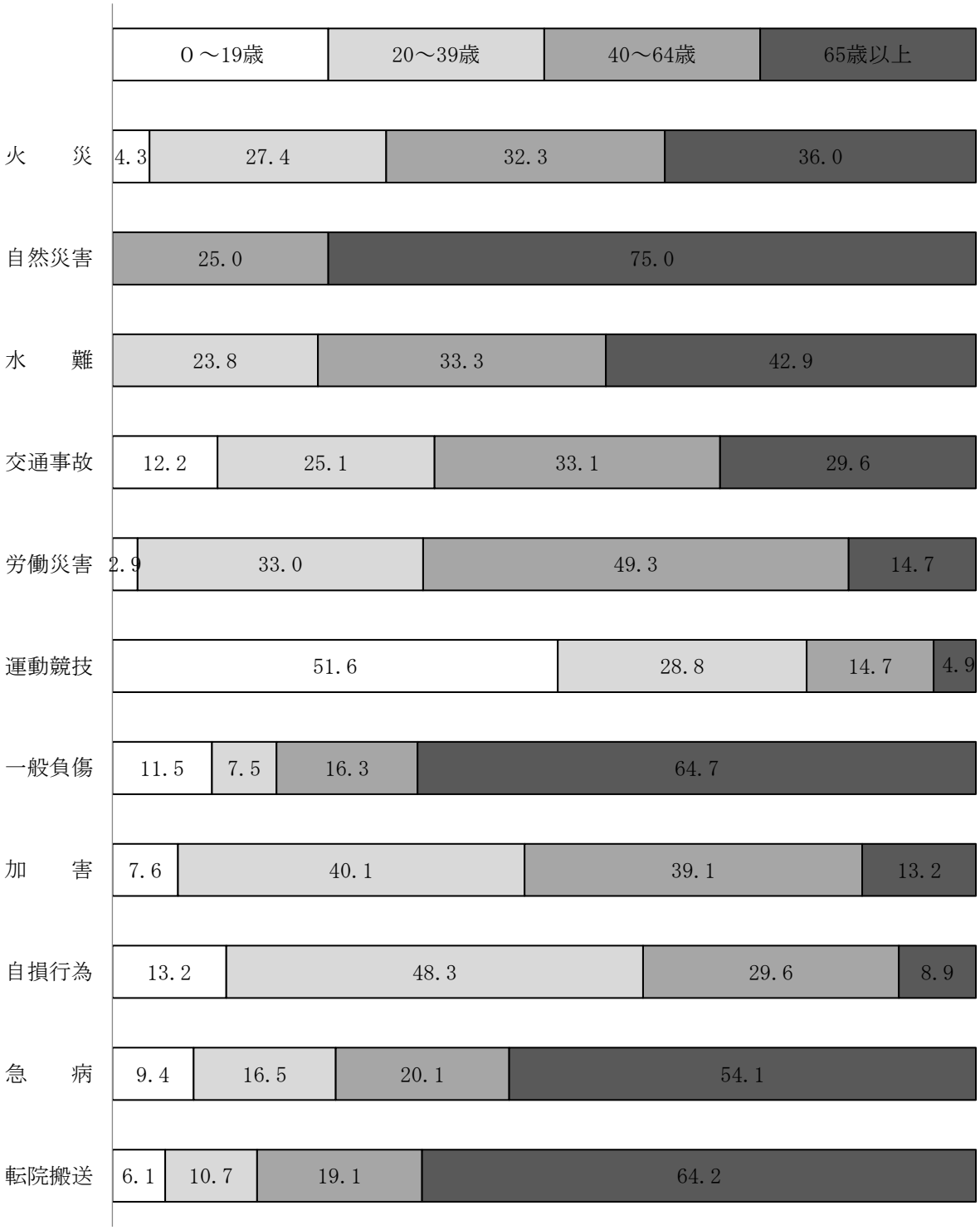
（単位：%）

	0～19歳		20～39歳	40～64歳	65歳以上
平成28年	9.4	16.0	23.2		51.3
平成29年	8.9	15.6	22.5		52.9
平成30年	8.8	15.8	22.3		53.0
令和元年	9.1	15.6	22.1		53.2
令和2年	6.9	15.0	22.3		55.7
令和3年	7.5	15.0	22.6		54.8
令和4年	9.0	15.5	20.8		54.7
令和5年	9.9	15.8	20.5		53.8

(3) 事故種別・年齢層別構成比

年齢層別の搬送人員を事故種別の割合でみると、急病、一般負傷で65歳以上は、それぞれ54.1%(80,161人)、64.7%(20,797人)と多くを占めており、交通事故では40歳から64歳までが33.1%(3,766人)と多くなっている。

(単位：%)



9．医療機関開設主体別搬送状況

傷病者を収容した医療機関は、私的医療機関が 160,271 人で 76.6%を占めている。

（単位：人）

区分	計	国立	公立	左記以外の公的	私的	その他
計	**209,110**	**11,374**	**15,500**	**21,963**	**160,271**	**2**
二次・三次救急医療機関	193,789	11,191	11,204	14,236	157,158	－
初期救急医療機関	865	36	－	－	829	－
その他の医療機関	14,452	147	4,296	7,727	2,282	－
その他の場所	4	－	－	－	4	－

10．転院搬送状況の推移

転院搬送は、医療機関からの要請により、当該医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関へ搬送することで、11,808 人と、全搬送人員の 5.6%を占めている。

また転院理由は、当該医療機関での処置困難が 9,562 人（80.1%）と８割を超え、次に専門外が 1,026 人（8.7%）となっている。

年	計（人）	全搬送人員に対する構成比（%）	理由別（人）					後送（人）
			ベッド満床	専門外	病床なし	処置困難	その他	
令和元年	13,281	6.5	279	1,875	287	9,615	381	844
令和２年	11,611	6.6	376	1,513	227	8,581	433	481
令和３年	11,525	6.6	292	1,270	199	8,853	405	506
令和４年	10,381	5.6	274	953	231	8,088	432	403
令和５年	11,808	5.6	186	1,026	265	9,562	306	463

11. 転送状況の推移

(1) 回数別搬送人員

転送とは、何らかの理由により、救急隊が当初搬送した医療機関等で収容できなかったため、当該救急隊が継続して他の医療機関等へ搬送した場合をいい、令和５年は 449 人と、全搬送人員の 0.2%となっている。

(単位：人)

年	転送なし (A)	転送あり					搬送人員 (C)=(A)+(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		１回	２回	３回	４回	小計 (B)		
令和元年	202,922	451	6	－	－	457	203,379	0.2
令和２年	176,222	406	5	－	－	411	176,633	0.2
令和３年	174,356	337	3	－	－	340	174,696	0.2
令和４年	185,299	942	14	1	－	957	186,256	0.5
令和５年	208,661	447	2	－	－	449	209,110	0.2

(2) 理由別転送回数

(単位：回)

年	計	ベッド満床	専門外	処置困難	その他
令和元年	463	24	187	211	41
令和２年	411	24	108	199	80
令和３年	343	29	102	148	64
令和４年	957	233	130	286	308
令和５年	451	49	101	199	102

12. 要保護傷病者搬送状況の推移

令和５年の要保護傷病者の搬送人員は889人であり、割合としては全搬送人員の0.4%となっている。

（単位：人）

年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
要保護傷病者搬送人員数	１，１９８	１，０１２	７９９	８９９	８８９

※要保護傷病者

・生活保護法に定める要保護者の傷病者（ただし、被保護者を除く）

・行旅病人及び行旅死亡人取扱法に定める行旅病人又は行旅死亡人に準ずる者

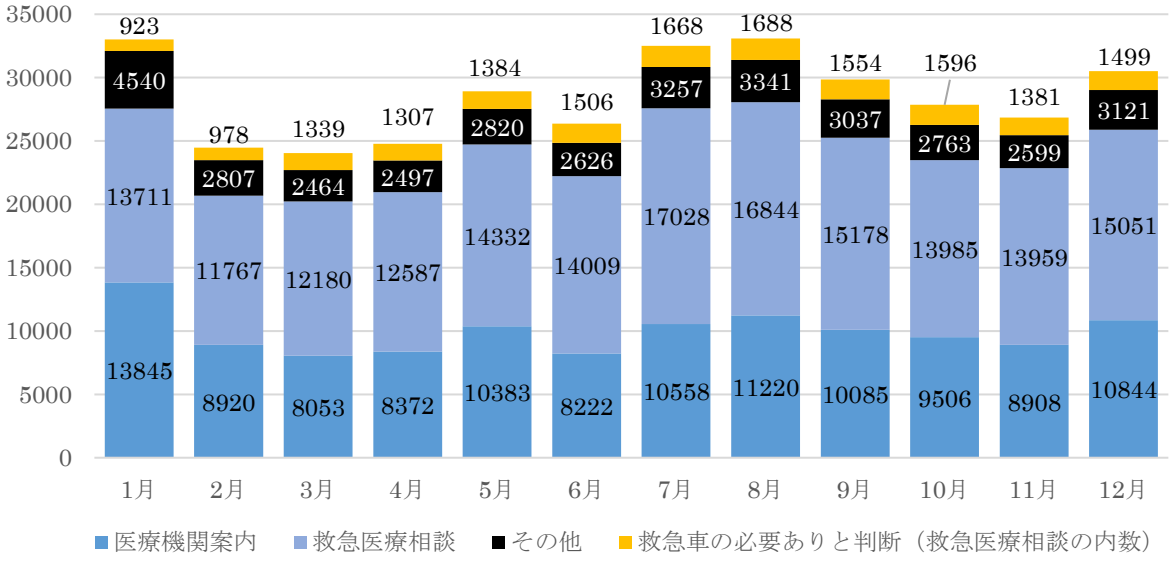
救急安心センターおおさか

１．救急安心センターおおさか利用状況

(1) 月別利用状況

１月の利用が最も多く、３月の利用が最も少なかった。

(件)



(2) 月別利用状況の詳細

全着信件数 325, 419 件の内、医療機関案内が 118, 916 件 (36. 5%)、救急医療相談が 170, 631 件 (52. 4%) であり、救急車の必要ありと判断した件数が 16, 823 件 (5. 2%) となっている。

(単位：件)

	全着信	医療機関案内	救急医療相談	救急車の必要あり	その他
計	**325, 419**	**118, 916**	**170, 631**	**16, 823**	**35, 872**
1 月	32, 096	13, 845	13, 711	923	4, 540
2 月	23, 494	8, 920	11, 767	978	2, 807
3 月	22, 697	8, 053	12, 180	1, 339	2, 464
4 月	23, 456	8, 372	12, 587	1, 307	2, 497
5 月	27, 535	10, 383	14, 332	1, 384	2, 820
6 月	24, 857	8, 222	14, 009	1, 506	2, 626
7 月	30, 843	10, 558	17, 028	1, 668	3, 257
8 月	31, 405	11, 220	16, 844	1, 688	3, 341
9 月	28, 300	10, 085	15, 178	1, 554	3, 037
10 月	26, 254	9, 506	13, 985	1, 596	2, 763
11 月	25, 466	8, 908	13, 959	1, 381	2, 599
12 月	29, 016	10, 844	15, 051	1, 499	3, 121

※その他とは、誤着信、無言電話、医薬品や育児に関する相談等。

(3) 曜日別利用状況

日曜日・祝日の利用が最も多く、１日平均は 1,381.9 件であり、続いて土曜日が１日平均 1,084.8 件となっている。

（単位：件）

曜日	日・祝日	月	火	水	木	金	土	**計**
１日平均	1,381.9	710.1	716.6	720.8	755.0	678.2	1,084.8	**891.6**

２．医療機関案内の診療科目別状況

年間 351,046 件の診療科目等の案内を行った。

科目別では案内数の多い順で内科系、外科系、小児科となっている。

科目等		計
内科系	（内科・循環器・呼吸器・消化器・神経内科）	132,890
外科系	（外科・心外・呼外・消外・脳外・整形・形成）	122,181
小児科	（小児・小児外・新生児）	58,150
産・婦人科	（産科・婦人科）	5,395
泌尿器科		6,013
皮膚科		6,320
眼科		5,198
耳鼻咽喉科		9,917
口腔外科		3,219
精神科		39
歯科		1,652
患者等搬送事業者		65
その他	（救命・重度熱傷・特殊等）	7
計		**351,046**

※医療機関を案内した合計数（救急医療相談後の医療機関案内を含む）

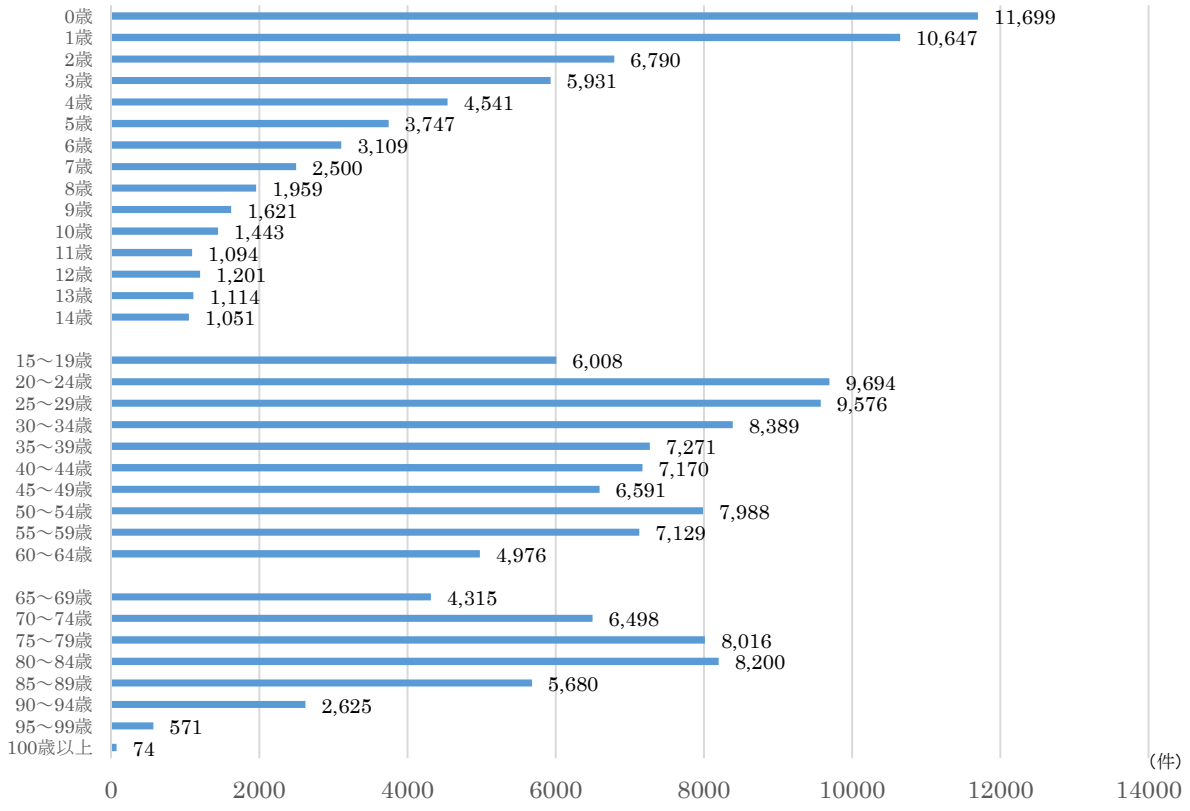
※１件の問い合わせで複数科目を案内した場合はそれぞれで計上

3．救急医療相談状況

(1) 救急医療相談対象者の年齢区分

小児(15 歳未満)の相談が 58,447 人 (34.3%)、高齢者(65 歳以上)が 35,979 人 (21.1%) となった。

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
計	**170,631**				
0 歳	11,699	15～19 歳	6,008	65～69 歳	4,315
1 歳	10,647	20～24 歳	9,694	70～74 歳	6,498
2 歳	6,790	25～29 歳	9,576	75～79 歳	8,016
3 歳	5,931	30～34 歳	8,389	80～84 歳	8,200
4 歳	4,541	35～39 歳	7,271	85～89 歳	5,680
5 歳	3,747	40～44 歳	7,170	90～94 歳	2,625
6 歳	3,109	45～49 歳	6,591	95～99 歳	571
7 歳	2,500	50～54 歳	7,988	100 歳以上	74
8 歳	1,959	55～59 歳	7,129	不明	1,413
9 歳	1,621	60～64 歳	4,976		
10 歳	1,443				
11 歳	1,094				
12 歳	1,201				
13 歳	1,114				
14 歳	1,051				



(2) 救急医療相談の症候別内訳

（単位：件）

成人用		成人及び小児共通			
呼吸困難	6,932	動悸	2,521	上肢の問題	2,128
喘鳴	270	意識障害	2,839	脚(鼠径部～下腿)	3,248
喘息	571	背部痛	1,900	足(足首より先)	1,319
痙攣	691	失神	1,051	出血	1,009
頭痛	6,663	構音障害・声が出ない	735	裂傷	460
胸痛	5,263	感冒	2,911	打撲	273
発熱	15,380	咽頭痛	2,516	墜落・転落	201
発疹・蕁麻疹	2,657	胸やけ	219	穿通性損傷	107
腹痛	10,504	吐血・下血・血便	2,127	咬傷・虫刺症	1,953
便秘	1,019	排尿時痛	431	熱傷	1,434
下痢	1,941	排尿困難	873	創傷感染	315
吐き気・嘔吐	5,392	尿の色の異常	813	眼の外傷	712
耳痛(耳漏)	485	多尿・頻尿	297	耳の外傷・異物	315
頭部外傷	3,527	腟からの出血	991	頸部・背部の外傷	272
小児用		性器・泌尿器(男性)	719	体幹外傷	1,074
発熱	16,708	難聴	239	四肢・顔面の外傷	5,029
痙攣(ひきつけ)・震え	1,560	耳鳴り	258	固形異物誤飲	2,896
咳	3,377	めまい・ふらつき	7,079	液体異物誤飲	645
鼻水・鼻づまり	432	しびれ・麻痺	4,723	ガス吸入・液体誤嚥	215
喘息・喘息様症状	328	眼科関連	2,521	医薬品過量（誤）服用	1,492
呼吸困難	1,319	鼻(外傷・鼻出血など)	1,857	眼内異物	392
発疹	2,726	口腔内・歯痛・歯牙損傷	2,604	コンタクトレンズ関連	116
吐き気・嘔吐	5,176	頸部痛・肩の痛み	1,551	鼻腔内異物	162
下痢	1,051	腰痛	3,561	魚骨咽頭異物	338
腹痛	2,618	乳房痛	133	直腸内異物	263
便秘	372	かゆみ	243	腟内異物	19
便の色の異常	823	アレルギー	920	皮膚異物	207
耳痛(耳漏)	931	高血圧	2,635	食中毒	728
頭痛	1,434	しゃっくり	158	熱中症	2,039
たばこ誤飲	310	過換気	379	低体温	110
啼泣	790	不安・恐怖	506	麻疹(はしか)	0
食欲がない	283	不眠	568	しらみ	9
頭部・頸部外傷	8,490	うつの訴え	137	**計**	**190,518**

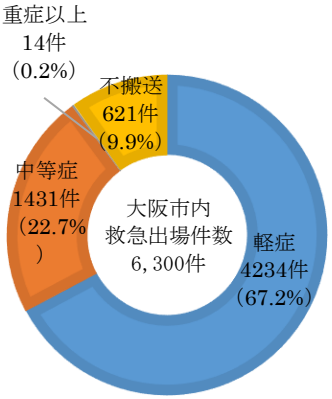
※救急医療相談のプロトコル使用要領は、共通項目を聴取した後に、相談内容に応じた症候別項目へ移行するが、共通項目を終えた時点で 119 転送した場合など、症候別項目へ移行せずに相談を終える場合がある。

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度（大阪市内）

救急車を出場させた 6,300 件（大阪市内）のうち、緊急入院したもの（中等症以上）は 1,445 件であった。また、軽症者の中には脳梗塞や心筋梗塞などでみられる症状を迅速にとらえ受診につなげることで、通院加療にとどまったケースもあった。

（単位：件）

	軽症	中等症	重症以上	不搬送等	計
計	**4,234**	**1431**	**14**	**621**	**6,300**
1 月	229	79	1	54	363
2 月	248	78	3	46	375
3 月	326	107	2	51	486
4 月	333	117	0	47	497
5 月	336	103	1	51	491
6 月	396	104	1	60	561
7 月	424	132	1	50	607
8 月	398	144	2	81	625
9 月	389	139	0	48	576
10 月	424	165	0	50	639
11 月	351	109	2	37	499
12 月	380	154	1	46	581



統　　計　　表

(参　考)　　事　故　種　別　区　分　表

種　　別	区分	内　　容
火 災 事 故	1	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故
自然災害事故	1	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他異常な自然現象に起因する災害による事故
水 難 事 故	1	水泳中の溺者（運動競技によるものを除く。）又は誤って水中に転落したこと等による事故（海上交通機関の交通事故によるものを除く）
交 通 事 故	1	陸上交通機関によるすべての事故（乗車中の負傷、走行中の急停車又は車内混乱が直接負傷発生の原因となったものを含む）
	2	海上交通機関によるすべての交通事故
	3	航空交通機関によるすべての交通事故
労働災害事故	1	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の外科的傷病事故
	2	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の内科的疾患事故（各種ガス中毒、ケーソン病、熱射病等）
運動競技事故	1	運動競技実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等が負傷又は発病した事故
	2	観覧中の者が運動競技用具等によって負傷した事故及び各種職場、学校等において組織的な運動競技でない練習、遊技中に発生した事故
一 般 負 傷	1	貨幣、針、その他の誤飲、異物による気道閉塞、寝具、乳房による窒息事故
	2	ガス類により中毒した事故（労働災害及び自損行為によるものを除く。）
	3	公衆集合場、街頭及び屋内等で発生した他の各項および前各号以外の事故
加　　害	1	他人によって故意に傷害等を加えられた事故
自 損 行 為	1	各種薬（毒）物又はガス類を使用し、故意に自分自身に傷害等を加えた事故
	2	前号以外の方法で故意に自分自身に傷害等を加えた事故
急　　病	1	内科的疾病による事故（症状悪化、食中毒、薬毒物誤飲等を含む。）
	2	産婦人科系の疾病による事故
そ　の　他		転 院 搬 送
		医 師 搬 送
		資器材輸送
		不搬送であったもののうち、前各項及び前各号以外の事故

第1表

事故種別救急活動状況

事故種別		出場件数（件）	搬送人員（人）
計		**263,089**	**209,110**
火災	1	798	186
自然災害	1	13	12
水難	1	81	21
交通	1	14,442	11,391
	2	3	2
	3	－	－
労働災害	1	1,594	1,542
	2	67	65
運動競技	1	969	939
	2	36	40
一般負傷	1	976	794
	2	28	21
	3	42,926	31,345
加害	1	2,114	1,146
自損行為	1	1,682	1,019
	2	939	491
急病	1	182,237	146,735
	2	1,604	1,553
その他			
転院搬送		11,808	11,808
医師搬送		4	－
資器材等輸送		0	－
その他		768	－

第2表

隊別救急活動状況

隊		出場件数（件） 計	傷病者搬送	医師搬送	資器材等輸送	不搬送	地域別 市域内	地域別 市域外	搬送人員（人）
計		**263,089**	**208,479**	**4**	**－**	**54,606**	**263,032**	**57**	**209,110**
救急課	本部指導1	135	115	－	－	20	135	－	116
	本部指導2	1,448	1,294	－	－	154	1,447	1	1,299
	本部機動1	2,932	2,467	－	－	465	2,931	1	2,477
	本部機動2	1,281	1,125	1	－	155	1,280	1	1,129
北	北	4,585	3,658	－	－	927	4,585	－	3,669
	南森町第1	3,979	3,058	－	－	921	3,977	2	3,074
	南森町第2	2,987	2,357	－	－	630	2,987	－	2,360
	浮田	5,036	3,935	－	－	1,101	5,036	－	3,943
	大淀町	3,851	3,034	－	－	817	3,850	1	3,048
都島	都島1	4,048	3,263	－	－	785	4,048	－	3,273
	都島2	2,092	1,803	－	－	289	2,092	－	1,806
	東野田	3,721	2,948	－	－	773	3,719	2	2,960
福島	福島	3,928	3,303	－	－	625	3,928	－	3,312
	海老江	3,160	2,672	－	－	488	3,159	1	2,680
此花	此花1	3,506	2,832	－	－	674	3,506	－	2,840
	此花2	3,265	2,657	－	－	608	3,265	－	2,664
中央	中央	3,842	3,101	－	－	741	3,841	1	3,125
	道頓堀	4,296	2,789	－	－	1,507	4,296	－	2,794
	上町	4,081	3,138	－	－	943	4,081	－	3,144
西	西	3,494	2,916	－	－	578	3,494	－	2,923
	江戸堀	3,608	2,936	－	－	672	3,608	－	2,951
	新町	4,151	3,170	－	－	981	4,151	－	3,189
港		3,708	3,152	－	－	556	3,706	2	3,164
大正		3,063	2,627	－	－	436	3,063	－	2,639
天王寺	天王寺1	4,280	3,260	－	－	1,020	4,280	－	3,269
	天王寺2	2,627	2,083	－	－	544	2,627	－	2,086
浪速	浪速本署1	4,276	2,960	－	－	1,316	4,275	1	2,969
	浪速本署2	4,076	2,873	－	－	1,203	4,076	－	2,886
	恵美須	4,471	2,916	－	－	1,555	4,471	－	2,922
	浪速（出）	3,850	2,716	－	－	1,134	3,849	1	2,722
西淀川	西淀川	3,703	3,137	－	－	566	3,703	－	3,150
	大和田	3,252	2,812	－	－	440	3,250	2	2,823
淀川	淀川1	4,374	3,448	－	－	926	4,374	－	3,458
	淀川2	4,183	3,298	－	－	885	4,183	－	3,308
	加島	3,264	2,639	－	－	625	3,264	－	2,646
東淀川	東淀川	4,036	3,414	－	－	622	4,035	1	3,425
	小松	3,686	3,103	－	－	583	3,685	1	3,123
	西淡路	4,198	3,376	－	－	822	4,197	1	3,387

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。
※本部指導第1救急隊及び本部指導第2救急隊は令和4年4月1日よりデイタイム救急隊
※本部機動第2救急隊は令和4年4月1日よりデイタイム救急隊

隊		出場件数（件） 計	傷病者搬送	医師搬送	資器材輸送	不搬送	地域別 市域内	地域別 市域外	搬送人員（人）
東成	東成1	3,970	3,221	－	－	749	3,966	4	3,227
	東成2	3,883	2,994	－	－	889	3,882	1	3,004
生野	生野	3,852	3,152	－	－	700	3,852	－	3,158
	中川	3,094	2,567	－	－	527	3,094	－	2,573
	巽	3,334	2,752	－	－	582	3,333	1	2,759
旭	旭1	4,489	3,540	－	－	949	4,488	1	3,547
	旭2	4,344	3,444	－	－	900	4,343	1	3,448
城東	城東1	3,963	3,349	－	－	614	3,961	2	3,352
	城東2	3,635	3,044	－	－	591	3,634	1	3,051
	中浜	3,747	3,181	－	－	566	3,744	3	3,190
鶴見	鶴見1	3,744	3,338	－	－	406	3,738	6	3,351
	鶴見2	3,553	3,214	－	－	339	3,546	7	3,220
阿倍野	阿倍野1	3,493	2,727	1	－	765	3,493	－	2,736
	阿倍野2	3,474	2,734	1	－	739	3,474	－	2,738
	阪南	3,350	2,677	－	－	673	3,350	－	2,682
住之江	住之江1	4,619	3,648	－	－	971	4,618	1	3,661
	住之江2	2,306	1,916	－	－	390	2,306	－	1,923
	南港	2,060	1,697	－	－	363	2,057	3	1,702
住吉	住吉1	3,905	3,050	－	－	855	3,905	－	3,058
	住吉2	3,704	2,843	－	－	861	3,704	－	2,849
	苅田	3,983	3,020	－	－	963	3,983	－	3,028
東住吉	東住吉1	4,088	3,232	－	－	856	4,088	－	3,242
	東住吉2	2,157	1,785	－	－	372	2,157	－	1,786
	杭全	3,607	2,747	－	－	860	3,606	1	2,753
平野	平野1	3,934	3,132	－	－	802	3,934	－	3,144
	平野2	3,706	3,040	－	－	666	3,706	－	3,046
	長吉	3,449	2,713	－	－	736	3,448	1	2,722
	喜連	4,222	3,284	－	－	938	4,222	－	3,287
西成	西成1	4,380	3,140	－	－	1,240	4,380	－	3,149
	西成2	4,042	2,954	－	－	1,088	4,041	1	2,960
	海道1	4,545	3,156	1	－	1,388	4,544	1	3,166
	海道2	4,388	2,997	－	－	1,391	4,388	－	3,004
	津守	3,285	2,614	－	－	671	3,284	1	2,626
水上		2,424	2,045	－	－	379	2,423	1	2,058
航空隊		1	1	－	－	－	－	1	1
増強救急隊		3,886	3,146	－	－	740	3,886	－	3,156

第3表

月別救急活動状況

月	出場件数（件）							搬送人員（人）
	計	傷病者搬送	医師搬送	資器材輸送	不搬送	地域別		
						市域内	市域外	
計	**263,089**	**208,479**	**4**	**0**	**54,606**	**263,032**	**57**	**209,110**
1月	22,464	16,909	-	-	5,555	22,464	-	16,963
2月	18,440	14,240	1	-	4,199	18,435	5	14,279
3月	19,820	15,619	-	-	4,201	19,817	3	15,657
4月	19,389	15,385	-	-	4,004	19,387	2	15,427
5月	20,636	16,601	-	-	4,035	20,630	6	16,664
6月	21,299	17,050	1	-	4,248	21,294	5	17,124
7月	25,629	20,419	-	-	5,210	25,627	2	20,476
8月	26,878	21,262	-	-	5,616	26,867	11	21,338
9月	22,442	17,716	1	-	4,725	22,434	8	17,764
10月	21,353	17,154	-	-	4,199	21,349	4	17,200
11月	20,697	16,749	-	-	3,948	20,691	6	16,786
12月	24,042	19,375	1	-	4,666	24,037	5	19,432

第4表

月別出場件数及び搬送人員

月	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**263,089**	**798**	**13**	**81**	**14,445**	**1,661**	**1,005**	**43,930**	**2,114**	**2,621**	**183,841**	**12,580**
	209,110	**186**	**12**	**21**	**11,393**	**1,607**	**979**	**32,160**	**1,146**	**1,510**	**148,288**	**11,808**
1月	22,464	81	－	4	932	109	43	3,646	163	172	16,388	926
	16,963	19	－	－	733	108	43	2,657	87	94	12,357	865
2月	18,440	55	－	4	1,003	122	72	3,279	153	189	12,641	922
	14,279	8	－	1	781	116	70	2,307	94	91	9,936	875
3月	19,820	79	1	5	1,244	151	72	3,424	174	184	13,462	1,024
	15,657	18	1	1	995	141	68	2,520	93	113	10,747	960
4月	19,389	72	1	6	1,174	122	84	3,431	188	208	13,131	972
	15,427	22	1	1	931	116	81	2,519	97	114	10,628	917
5月	20,636	67	－	10	1,200	122	85	3,454	190	229	14,175	1,104
	16,664	14	－	3	955	123	81	2,568	108	141	11,627	1,044
6月	21,299	64	－	9	1,174	116	120	3,478	185	231	14,851	1,071
	17,124	22	－	1	953	112	121	2,550	104	134	12,109	1,018
7月	25,629	56	－	6	1,318	164	115	3,700	189	276	18,668	1,137
	20,476	13	－	1	1,020	162	111	2,661	104	156	15,192	1,056
8月	26,878	51	10	7	1,237	172	86	3,776	181	263	19,950	1,145
	21,338	8	9	3	973	171	86	2,709	105	157	16,057	1,060
9月	22,442	63	－	11	1,209	172	92	3,553	172	259	15,873	1,038
	17,764	8	－	4	933	163	87	2,552	83	140	12,815	979
10月	21,353	51	－	7	1,283	125	94	3,915	206	231	14,412	1,029
	17,200	16	－	2	999	122	92	2,929	92	143	11,838	967
11月	20,697	83	1	9	1,268	146	73	3,768	151	204	13,965	1,029
	16,786	23	1	3	1,016	142	72	2,847	78	118	11,527	959
12月	24,042	76	－	3	1,403	140	69	4,506	162	175	16,325	1,183
	19,432	15	－	1	1,104	131	67	3,341	101	109	13,455	1,108

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第5表

行政区別救急活動状況

行政区	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
計	**263,089**	**798**	**13**	**81**	**14,445**	**1,661**	**1,005**	**43,930**	**2,114**	**2,621**	**183,841**	**11,808**	**4**	**0**	**768**
	209,110	**186**	**12**	**21**	**11,393**	**1,607**	**979**	**32,160**	**1,146**	**1,510**	**148,288**	**11,808**	**－**	**－**	**－**
北	19,695	70	1	6	1,008	208	53	3,568	210	118	13,691	724	－	－	38
	15,466	32	1	3	824	202	51	2,684	123	70	10,752	724	－	－	
都島	8,740	28	1	7	434	38	24	1,535	70	75	6,238	268	－	－	22
	6,927	6	1	4	356	38	22	1,119	34	43	5,036	268	－	－	－
福島	5,753	21	－	1	334	63	23	962	19	51	3,927	333	1	－	18
	4,925	5	－	－	295	62	23	760	14	39	3,394	333	－	－	－
此花	6,785	14	1	2	280	84	55	1,094	24	47	4,961	207	－	－	16
	5,586	5	1	1	223	81	51	862	9	26	4,120	207	－	－	
中央	18,577	63	－	8	1,182	147	60	3,305	395	298	12,672	391	－	－	56
	13,169	7	－	－	896	140	59	2,214	204	162	9,096	391	－	－	－
西	7,971	24	2	－	575	73	25	1,177	67	83	4,923	992	－	－	30
	6,773	4	2	－	485	73	24	902	39	44	4,208	992	－	－	－
港	7,198	10	1	1	355	50	44	1,221	37	42	5,156	266	－	－	15
	6,113	1	1		294	49	41	959	23	26	4,453	266	－	－	－
大正	5,785	16	－	1	291	63	27	991	33	41	4,096	220	－	－	6
	4,922	3	－	－	241	61	27	778	23	23	3,546	220	－	－	－
天王寺	7,539	17	－	－	442	54	64	1,421	55	57	4,863	549	－	－	17
	5,927	5	－	－	339	53	65	1,054	33	38	3,791	549	－	－	－
浪速	9,274	40	－	1	560	70	35	1,523	101	193	6,366	369	－	－	16
	6,662	4	－	1	422	64	32	942	50	95	4,683	369	－	－	－
西淀川	7,564	24	－	2	422	83	20	1,149	18	53	5,269	503	－	－	21
	6,566	8	－	1	361	82	19	898	12	33	4,649	503	－	－	－
淀川	15,376	52	1	7	821	100	43	2,608	92	154	10,924	530	－	－	44
	12,253	9	1	2	661	97	43	1,892	51	77	8,890	530	－	－	－
東淀川	14,961	42	1	7	728	56	75	2,235	72	181	10,969	541	1	－	53
	12,330	9	1	2	573	55	73	1,736	44	119	9,177	541	－	－	－

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

行政区	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
東成	6,749	14	1	1	431	36	32	1,040	29	63	4,668	412	－	－	22
	5,514	6	－	－	332	35	32	799	19	35	3,844	412	－	－	－
生野	12,457	42	－	2	780	50	33	2,051	105	151	8,706	511	－	－	26
	10,105	10	－	2	595	48	33	1,527	65	84	7,230	511	－	－	－
旭	7,136	35	1	2	365	21	28	1,165	38	82	4,882	490	－	－	27
	5,828	16	1	1	288	19	27	887	19	55	4,025	490	－	－	－
城東	11,946	30	－	3	618	37	41	1,963	55	91	8,365	706	－	－	37
	10,238	9	－	－	517	36	41	1,545	32	56	7,296	706	－	－	－
鶴見	7,397	13	1	1	465	31	71	1,189	25	59	5,061	470	－	－	11
	6,585	2	1	1	419	31	69	997	20	38	4,537	470	－	－	－
阿倍野	8,701	25	－	2	461	44	40	1,538	47	66	6,006	441	－	－	31
	6,952	5	－		352	41	40	1,141	30	47	4,855	441	－	－	－
住之江	11,148	45	－	3	590	112	53	1,763	58	113	7,837	535	－	－	39
	9,009	5	－		447	110	51	1,296	32	70	6,463	535	－	－	－
住吉	13,415	23	－	1	699	21	50	2,236	79	150	9,534	535	－	－	87
	10,349	4	－		522	21	49	1,612	33	80	7,493	535	－	－	－
東住吉	11,612	23	1	2	670	60	35	1,934	85	115	8,059	582	－	－	46
	9,270	3	1	1	512	56	35	1,448	49	57	6,526	582	－	－	－
平野	17,163	46	1	2	1,037	103	34	2,744	83	164	12,157	726	－	－	66
	13,753	6	1	－	821	97	34	2,087	51	106	9,824	726	－	－	－
西成	20,068	79	－	－	861	56	40	3,512	317	173	14,499	506	2	－	23
	13,842	21	－	－	591	55	38	2,017	137	87	10,390	506	－	－	－
水上区	22	－	－	18	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	1
	5	－	－	2	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－
市域外	57	2	－	1	36	－	－	4	－	1	12	1	－	－	－
	41	1	－		27	－	－	2	－	－	10	1	－	－	－

第6表　　平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員

区分	出場件数（件）														
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
計	**263,089**	**798**	**13**	**81**	**14,445**	**1,661**	**1,005**	**43,930**	**2,114**	**2,621**	**183,841**	**11,808**	**4**	**0**	**768**
平・休日															
平日	161,497	499	11	46	9,186	1,163	375	26,398	1,126	1,664	111,926	8,613	2	－	488
休日	101,592	299	2	35	5,259	498	630	17,532	988	957	71,915	3,195	2	－	280
時間															
0～1	8,206	30	1	1	343	24	6	1,292	147	118	6,064	142	－	－	38
1～2	6,827	23	－	3	257	26	4	1,001	141	115	5,129	105	－	－	23
2～3	6,047	30	－	4	217	18	3	826	129	96	4,614	83	－	－	27
3～4	5,436	18	－	3	197	18	－	696	113	98	4,206	68	－	－	19
4～5	5,100	25	－	2	180	17	2	638	98	84	3,960	70	1	－	23
5～6	5,448	13	1	3	232	17	2	738	84	66	4,228	45	－	－	19
6～7	6,678	23	2	5	336	24	3	979	75	86	5,098	31	－	－	16
7～8	8,519	26	3	5	507	43	3	1,292	51	85	6,431	54	1	－	18
8～9	11,479	34	－	6	859	83	15	1,827	62	87	8,379	98	1	－	28
9～10	14,759	35	3	6	817	118	40	2,514	55	89	10,473	580	－	－	29
10～11	15,389	33	1	1	836	159	83	2,507	48	109	10,463	1,098	－	－	51
11～12	14,699	39	1	4	773	136	117	2,522	55	104	9,585	1,328	－	－	35
12～13	14,806	44	－	10	787	84	70	2,364	66	94	9,626	1,614	－	－	47
13～14	14,242	62	－	2	826	144	97	2,272	70	105	9,423	1,198	－	－	43
14～15	13,518	42	－	1	753	155	113	2,315	57	101	9,074	869	－	－	38
15～16	13,148	37	－	5	818	119	90	2,341	52	104	8,799	751	1	－	31
16～17	13,400	44	1	1	908	115	68	2,436	59	115	8,820	804	－	－	29
17～18	14,111	44	－	1	1,091	72	66	2,528	78	138	9,218	834	－	－	41
18～19	13,654	39	－	4	967	56	47	2,386	76	137	9,241	665	－	－	36
19～20	13,198	39	－	3	779	57	43	2,428	95	137	9,077	513	－	－	27
20～21	12,532	43	－	2	583	45	64	2,342	103	144	8,849	315	－	－	42
21～22	11,692	28	－	2	496	74	38	2,123	115	149	8,413	218	－	－	36
22～23	10,770	29	－	3	460	34	21	1,927	147	136	7,793	176	－	－	44
23～24	9,431	18	－	4	423	23	10	1,636	138	124	6,878	149	－	－	28

区分	搬送人員（人）											
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**209,110**	**186**	**12**	**21**	**11,393**	**1,607**	**979**	**32,160**	**1,146**	**1,510**	**148,288**	**11,808**
平･休日												
平 日	129,338	106	10	13	7,331	1,128	368	19,298	617	961	90,893	8,613
休 日	79,772	80	2	8	4,062	479	611	12,862	529	549	57,395	3,195
時間												
0 ～ 1	5,706	12	1	－	235	21	6	769	77	72	4,371	142
1 ～ 2	4,658	3	－	－	161	23	4	611	70	42	3,639	105
2 ～ 3	4,045	4	－	－	144	17	2	458	58	54	3,225	83
3 ～ 4	3,739	6	－	1	121	16	－	409	61	49	3,008	68
4 ～ 5	3,596	8	－	－	122	17	2	398	46	44	2,889	70
5 ～ 6	3,970	4	－	1	176	16	2	459	40	42	3,185	45
6 ～ 7	5,135	5	2	2	269	24	3	676	46	54	4,023	31
7 ～ 8	6,845	4	3	1	420	42	3	993	31	45	5,249	54
8 ～ 9	9,671	5	－	2	720	81	14	1,488	44	50	7,169	98
9 ～10	12,905	9	3	3	707	114	42	2,120	31	55	9,241	580
10～11	13,203	4	1	－	696	153	80	2,024	28	56	9,063	1,098
11～12	12,359	10	1	1	624	134	120	1,944	39	55	8,103	1,328
12～13	12,481	16	－	3	642	83	67	1,825	41	63	8,127	1,614
13～14	11,896	24	－	1	680	143	91	1,733	44	60	7,922	1,198
14～15	11,186	14	－	－	605	154	112	1,784	36	60	7,552	869
15～16	10,779	8	－	2	660	112	87	1,770	29	64	7,296	751
16～17	10,909	10	1	－	730	111	67	1,812	33	65	7,276	804
17～18	11,444	11	－	1	829	73	66	1,897	41	94	7,598	834
18～19	10,977	10	－	－	765	53	46	1,765	44	83	7,546	665
19～20	10,386	3	－	1	629	54	42	1,775	52	88	7,229	513
20～21	9,641	7	－	1	448	40	60	1,695	54	82	6,939	315
21～22	8,889	4	－	1	369	72	36	1,477	56	84	6,572	218
22～23	7,939	3	－	－	348	31	20	1,264	76	78	5,943	176
23～24	6,751	2	－	－	293	23	7	1,014	69	71	5,123	149

第7表　　曜日別、時間別出場件数及び搬送人員

時間	出場件数（件）							
	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	**263,089**	**38,252**	**38,767**	**36,346**	**36,512**	**36,472**	**38,003**	**38,737**
0 ～ 1	8,206	1,382	1,150	1,072	1,143	1,066	1,109	1,284
1 ～ 2	6,827	1,179	944	914	877	875	925	1,113
2 ～ 3	6,047	1,039	822	738	841	771	842	994
3 ～ 4	5,436	910	761	750	699	716	718	882
4 ～ 5	5,100	914	706	675	632	684	696	793
5 ～ 6	5,448	866	788	716	777	741	780	780
6 ～ 7	6,678	1,031	1,048	903	868	930	939	959
7 ～ 8	8,519	1,212	1,434	1,239	1,151	1,177	1,178	1,128
8 ～ 9	11,479	1,446	1,987	1,682	1,709	1,595	1,599	1,461
9 ～10	14,759	1,850	2,488	2,168	2,150	2,146	2,043	1,914
10～11	15,389	1,936	2,478	2,188	2,189	2,231	2,267	2,100
11～12	14,699	2,049	2,209	2,079	2,114	2,022	2,180	2,046
12～13	14,806	2,073	2,268	2,107	2,031	2,058	2,136	2,133
13～14	14,242	1,993	2,126	1,952	2,056	2,002	2,137	1,976
14～15	13,518	1,937	1,987	1,870	1,921	1,917	1,949	1,937
15～16	13,148	1,858	1,929	1,837	1,808	1,904	1,986	1,826
16～17	13,400	2,004	1,868	1,870	1,960	1,886	1,883	1,929
17～18	14,111	1,999	2,016	1,968	1,932	2,022	2,049	2,125
18～19	13,654	2,030	1,992	1,919	1,844	1,881	1,985	2,003
19～20	13,198	1,985	1,865	1,786	1,866	1,780	1,904	2,012
20～21	12,532	1,878	1,660	1,747	1,747	1,748	1,797	1,955
21～22	11,692	1,732	1,576	1,536	1,540	1,640	1,745	1,923
22～23	10,770	1,576	1,414	1,429	1,436	1,415	1,700	1,800
23～24	9,431	1,373	1,251	1,201	1,221	1,265	1,456	1,664

時間	搬送人員（人）							
	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	**209,110**	**29,857**	**31,317**	**29,187**	**29,112**	**29,046**	**30,207**	**30,384**
0 ～ 1	5,706	943	803	752	783	768	773	884
1 ～ 2	4,658	790	678	625	601	613	622	729
2 ～ 3	4,045	674	573	496	573	529	567	633
3 ～ 4	3,739	616	537	514	506	480	487	599
4 ～ 5	3,596	608	533	484	465	477	468	561
5 ～ 6	3,970	609	584	535	568	546	561	567
6 ～ 7	5,135	773	827	705	656	749	722	703
7 ～ 8	6,845	961	1,177	1,009	937	944	943	874
8 ～ 9	9,671	1,176	1,725	1,427	1,429	1,360	1,365	1,189
9 ～10	12,905	1,559	2,188	1,918	1,889	1,904	1,807	1,640
10～11	13,203	1,623	2,167	1,892	1,880	1,899	1,931	1,811
11～12	12,359	1,683	1,844	1,796	1,782	1,698	1,830	1,726
12～13	12,481	1,691	1,959	1,811	1,711	1,722	1,802	1,785
13～14	11,896	1,622	1,783	1,643	1,721	1,704	1,787	1,636
14～15	11,186	1,600	1,668	1,536	1,589	1,599	1,612	1,582
15～16	10,779	1,499	1,562	1,503	1,509	1,535	1,671	1,500
16～17	10,909	1,611	1,540	1,521	1,573	1,548	1,550	1,566
17～18	11,444	1,626	1,645	1,590	1,570	1,627	1,666	1,720
18～19	10,977	1,646	1,597	1,565	1,447	1,495	1,633	1,594
19～20	10,386	1,550	1,493	1,426	1,468	1,385	1,462	1,602
20～21	9,641	1,467	1,291	1,324	1,353	1,355	1,354	1,497
21～22	8,889	1,360	1,201	1,178	1,170	1,199	1,317	1,464
22～23	7,939	1,170	1,045	1,072	1,052	1,028	1,257	1,315
23～24	6,751	1,000	897	865	880	882	1,020	1,207

第8表　　事故種別出場件数及び搬送人員

事故種別	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	**263,089**	**38,252**	**38,767**	**36,346**	**36,512**	**36,472**	**38,003**	**38,737**
	209,110	**29,857**	**31,317**	**29,187**	**29,112**	**29,046**	**30,207**	**30,384**
火災	798	88	96	134	134	97	134	115
	186	19	16	47	26	16	30	32
自然災害	13	-	1	10	-	1	-	1
	12	-	1	9	-	1	-	1
水難	81	15	11	11	12	9	14	9
	21	3	4	4	2	2	3	3
交通	14,445	1,795	2,040	2,087	2,082	2,049	2,211	2,181
	11,393	1,353	1,635	1,685	1,634	1,602	1,785	1,699
労働災害	1,661	129	239	276	270	251	272	224
	1,607	128	230	260	266	249	258	216
運動競技	1,005	311	80	83	84	104	114	229
	979	302	78	78	82	101	116	222
一般負傷	43,930	6,563	6,099	5,894	5,982	6,154	6,304	6,934
	32,160	4,837	4,491	4,369	4,421	4,458	4,506	5,078
加害	2,114	437	268	225	299	266	252	367
	1,146	223	147	116	168	141	145	206
自損行為	2,621	371	431	373	344	362	384	356
	1,510	223	243	215	189	212	229	199
急病	183,841	27,743	27,277	25,208	25,411	25,364	26,108	26,730
	148,288	22,078	22,367	20,460	20,542	20,558	21,045	21,238
その他	12,580	800	2,225	2,045	1,894	1,815	2,210	1,591
	11,808	691	2,105	1,944	1,782	1,706	2,090	1,490

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第9表

日別出場件数

（単位:件）

日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	22,464	18,440	19,820	19,389	20,636	21,299	25,629	26,878	22,442	21,353	20,697	24,042
1日	825	660	685	658	767	710	747	926	805	765	744	681
2日	848	660	609	678	666	642	784	834	790	683	674	779
3日	830	683	624	645	711	733	835	887	810	642	687	729
4日	876	703	642	594	763	721	697	935	800	690	697	765
5日	853	683	646	649	737	697	719	946	801	616	732	670
6日	761	668	711	651	723	662	718	915	720	677	793	736
7日	739	634	672	636	597	645	762	902	702	727	649	685
8日	750	612	622	631	685	666	785	949	741	693	669	743
9日	823	644	641	662	654	658	702	868	774	679	620	788
10日	791	617	643	686	615	736	793	924	750	731	691	791
11日	754	725	699	604	643	656	821	916	756	630	694	776
12日	708	678	646	588	692	722	778	958	702	613	625	679
13日	752	697	655	621	633	714	690	903	674	734	673	720
14日	708	559	651	626	626	691	792	865	707	699	618	657
15日	683	669	627	645	684	704	889	712	823	671	670	804
16日	705	642	637	678	686	746	885	982	777	731	665	769
17日	640	669	616	637	615	852	894	877	747	683	696	722
18日	699	620	635	625	664	772	933	897	760	716	693	788
19日	653	622	616	595	643	809	796	916	757	687	725	763
20日	665	678	680	680	678	676	838	855	721	702	700	736
21日	666	582	595	702	661	671	845	965	752	695	657	728
22日	679	673	676	654	704	639	876	812	754	664	694	778
23日	674	651	626	626	575	736	874	785	719	708	708	820
24日	613	676	614	655	632	772	908	781	739	649	744	755
25日	606	643	636	592	594	700	923	815	707	686	739	832
26日	685	668	573	566	673	722	850	814	687	678	704	828
27日	662	725	659	636	706	681	873	836	702	695	667	890
28日	694	699	574	747	655	683	929	826	708	688	722	923
29日	707		595	747	669	704	915	773	771	693	659	903
30日	728		631	675	603	779	875	746	786	725	688	979
31日	687		684		682		903	758		703		825

第10表　　発生場所別救急活動状況

発生場所	計	急病	一般	交通	その他
計	**263,089**	**183,841**	**43,930**	**14,445**	**20,873**
	209,110	**148,286**	**32,159**	**11,393**	**17,272**
住宅	144,024	119,799	20,270	223	3,732
	118,845	101,418	15,496	199	1,732
公衆出入り場所	65,040	39,874	10,723	291	14,152
	54,117	31,776	8,610	225	13,506
仕事場	6,425	4,706	463	20	1,236
	5,935	4,380	403	19	1,133
阪神高速道路	264	33	13	212	6
	197	22	3	172	－
近畿自動車道	18	6	1	9	2
	12	5	－	6	1
その他の道路	43,198	16,928	11,472	13,475	1,323
	27,084	8,886	6,943	10,600	655
軌道上	84	1	41	32	10
	59	－	27	23	9
水上	149	9	28	4	108
	57	6	10	3	38
公衆の乗降する運輸機関内	1,151	966	105	64	16
	924	769	86	59	10
その他の運輸機関内	408	349	24	11	24
	309	265	16	9	19
その他の屋内	775	480	214	3	78
	536	337	150	2	47
その他の屋外	1,553	690	576	101	186
	1,035	422	415	76	122

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第11表　　活動区分別出場件数

区　　分	件　数	搬送人員	区　　分	件　数
計	**263,089**	**209,110**		
傷病者搬送	**208,479**	**209,110**	**医師搬送**	**4**
選択	123,694	124,237	処置	3
依頼	72,977	73,065	指示	－
転院	11,808	11,808	確認	－
不搬送	**54,606**	－	その他	1
他隊搬送	18	－	**資器材等輸送**	**0**
拒否	41,678	－	血液	－
死亡	3,797	－	医薬品	－
傷病者無	2,778	－	資器材	－
誤報・いたずら	1,125	－		
辞退	2,699	－		
その他	2,511	－		

第12表　　理由別不搬送件数

（単位:件）

理　由	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**54,606**	**619**	**1**	**60**	**3,365**	**58**	**42**	**11,809**	**985**	**1,112**	**35,787**	**768**
拒否	41,678	32	-	15	2,807	43	30	8,820	888	777	28,233	33
死亡	3,797	8	-	26	11	-	-	422	1	258	3,057	14
傷病者無	2,778	536	1	10	264	1	1	1,498	20	11	301	135
他隊搬送	18		-		2	-	-	5	-	-	11	-
誤報等	1,125	8	-	3	6	-	-	341	8	9	280	470
辞退	2,699	2	-		124	9	5	389	30	27	2,089	24
その他	2,511	33	-	6	151	5	6	334	38	30	1,816	92

第13表

医療機関開設主体別搬送人員

（単位：人）

区分	合計	市域内					市域外									
		小計	急病	一般	交通	その他	府下					府外				
							小計	急病	一般	交通	その他	小計	急病	一般	交通	その他
合計	**209,110**	**195,168**	**138,737**	**30,344**	**10,793**	**15,294**	**13,326**	**9,163**	**1,758**	**588**	**1,817**	**616**	**388**	**58**	**12**	**158**
国立	11,374	10,670	8,064	1,148	313	1,145	648	431	32	3	182	56	33	6	－	17
公立	15,500	13,979	10,042	1,153	480	2,304	1,219	866	96	20	237	302	184	32	9	77
上記以外の公的	21,963	20,968	15,140	2,965	903	1,960	982	782	80	35	85	13	9	1	－	3
私的病院	158,705	148,010	104,252	24,865	9,066	9,827	10,451	7,065	1,550	528	1,308	244	161	19	3	61
診療所	1,566	1,539	1,238	212	31	58	26	19	－	2	5	1	1	－	－	－
その他の場所	2	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
二次・三次医療機関	**193,789**	**180,330**	**128,117**	**28,398**	**10,365**	**13,450**	**12,886**	**8,904**	**1,731**	**582**	**1,669**	**573**	**363**	**50**	**11**	**149**
国立	11,191	10,670	8,064	1,148	313	1,145	467	335	17	1	114	54	31	6	－	17
公立	11,204	9,803	7,146	858	440	1,359	1,104	803	90	19	192	297	183	31	9	74
上記以外の公的	14,236	13,242	9,704	1,729	575	1,234	982	782	80	35	85	12	8	1	－	3
私的病院	157,094	146,552	103,142	24,662	9,037	9,711	10,333	6,984	1,544	527	1,278	209	140	12	2	55
診療所	64	63	61	1	－	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
初期医療機関	**865**	**828**	**710**	**89**	**－**	**29**	**37**	**14**	**15**	**2**	**6**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**
国立	36	－	－	－	－	－	36	13	15	2	6	－	－	－	－	－
公立	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
上記以外の公的	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
私的病院	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
診療所	829	828	710	89	－	29	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の医療機関	**14,452**	**14,006**	**9,908**	**1,855**	**428**	**1,815**	**403**	**245**	**12**	**4**	**142**	**43**	**25**	**8**	**1**	**9**
国立	147	－	－	－	－	－	145	83	－	－	62	2	2	－	－	－
公立	4,296	4,176	2,896	295	40	945	115	63	6	1	45	5	1	1	－	3
上記以外の公的	7,727	7,726	5,436	1,236	328	726	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
私的病院	1,611	1,458	1,110	203	29	116	118	81	6	1	30	35	21	7	1	6
診療所	671	646	466	121	31	28	25	18	－	2	5	－	－	－	－	－
その他の場所	**4**	**4**	**2**	**2**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**

第14表

傷病程度別搬送人員

（単位:人）

程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**209,110**	**186**	**12**	**21**	**11,393**	**1,607**	**979**	**32,160**	**1,146**	**1,510**	**148,288**	**11,808**
軽症	121,858	89	10	5	9,439	1,172	873	22,160	1,031	684	84,992	1,403
中等症	83,442	67	2	2	1,831	397	104	9,646	108	567	60,377	10,341
重症	1,339	16	－	2	85	31	2	156	6	73	914	54
死亡	2,469	14	－	12	38	7	－	198	1	186	2,003	10
不詳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－

第15表

診療科目別搬送人員

（単位:人）

診療科目	計	軽症	中等症	重症	死亡	不詳
計	**209,110**	**121,858**	**83,442**	**1,339**	**2,469**	**2**
内科	61,114	37,242	23,351	146	375	－
循環器系内科	18,085	7,068	8,615	702	1,700	－
呼吸器内科	24,653	9,081	15,456	78	38	－
小児科	11,793	9,843	1,933	9	8	－
外科一般	6,916	3,587	2,842	182	305	－
整形外科	29,396	17,639	11,726	31	－	－
脳神経外科	37,598	25,089	12,286	183	40	－
産婦人科	2,360	1,139	1,221	－	－	－
泌尿器科	8,548	4,425	4,118	4	1	－
耳鼻咽喉科	5,694	4,898	796	－	－	－
眼科	431	335	96	－	－	－
新生児科	37	11	26	－	－	－
皮膚科	1,141	674	467	－	－	－
精神科	1,240	745	495	－	－	－
その他	104	82	14	4	2	2

第16表

傷病種別搬送状況

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
計	**209,110**	**循環器系　心疾患**	**12,757**
		急性リウマチ熱	－
感染症及び寄生虫症	**11,615**	慢性リウマチ性心疾患	2
腸管感染症	1,337	高血圧性疾患	1,151
結核	107	狭心症	906
その他の細菌性疾患	491	急性心筋梗塞	1,590
ウイルス肝炎	8	その他の虚血性心疾患	285
その他のウイルス疾患	8,707	肺性心疾患、肺循環疾患	124
寄生虫症	21	その他の型の心疾患	6,501
その他の感染症	944	動脈、細動脈、毛細血管の疾患	1,042
		静脈、リンパ管、リンパ節の疾患	185
新生物	**3,246**	循環器系のその他の疾患	971
口唇、口腔、咽頭の悪性新生物	68		
消化器の悪性新生物	1,417	**循環器系　脳疾患**	**8,067**
呼吸器、胸腔内臓器の悪性新生物	746	くも膜下出血	474
骨、関節軟骨の悪性新生物	48	脳内出血	2,070
皮膚の悪性新生物	19	脳梗塞	4,700
中皮、軟部組織の悪性新生物	25	その他の脳血管疾患	823
乳房の悪性新生物	133		
女性性器の悪性新生物	107	**呼吸器系**	**18,210**
男性性器の悪性新生物	89	上気道の疾患	2,692
尿路の悪性新生物	146	インフルエンザ	2,162
眼、脳、中枢神経系の悪性新生物	148	肺炎	9,464
内分泌腺の悪性新生物	19	慢性閉塞性肺疾患	612
部位不明、続発部位の悪性新生物	17	喘息	1,108
リンパ組織、造血器の悪性新生物	185	下気道のその他の疾患	638
独立した多部位の悪性新生物	7	呼吸器系のその他の疾患	1,534
上皮内新生物	2		
良性新生物	29	**消化器系**	**19,207**
性状不詳または不明の新生物	41	口腔、唾液腺、顎の疾患	64
		上部消化管の疾患	4,402
血液・造血器疾患、免疫機構障害	**739**	急性虫垂炎	831
貧血	506	ヘルニア	373
凝固障害、紫斑病、出血性病態	54	下部消化管のその他の疾患	7,892
血液、造血器のその他の疾患	123	腹膜の疾患	215
免疫機構の障害	56	肝疾患	937
		胆のう、胆管、膵の障害	3,184
内分泌、栄養及び代謝疾患	**6,714**	消化器系のその他の疾患	1,309
甲状腺障害	53		
糖尿病	732	**皮膚及び皮下組織の疾患**	**1,353**
その他の内分泌腺障害	134	皮膚、皮下組織の感染症	671
栄養欠乏症	116	皮膚、皮下組織のその他の疾患	682
肥満(症)、その他の過栄養	1		
代謝障害	5,678	**筋骨格器系及び結合組織の疾患**	**4,682**
		関節障害	1,159
精神及び行動の障害	**1,376**	全身性結合組織障害	29
症状性を含む器質性精神障害	105	脊柱障害	1,904
精神作用物質による障害	120	軟部組織障害	1,017
統合失調症型障害、妄想性障害	264	骨障害、軟骨障害	74
気分[感情]障害	295	筋骨格、結合組織のその他の疾患	499
精神、行動のその他の障害	592		
		腎尿路生殖器系の疾患	**9,046**
神経系及び感覚器の疾患	**9,418**	腎不全	749
中枢神経系の炎症性疾患	196	尿路結石症	2,347
挿間性、発作性障害	3,088	腎、尿管のその他の疾患	1,987
麻痺性症候群	110	膀胱、尿道のその他の疾患	2,552
神経系のその他の疾患	830	男性生殖器の疾患	253
眼及び付属器の疾患	336	乳房、女性生殖器の疾患	1,076
耳及び乳様突起の疾患	4,858	生殖器系のその他の疾患	82

（単位：人）

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
妊婦、分娩及び産褥	**1,001**	切断創	122
分娩	86	轢過創	6
流産に終った妊娠	187	剥皮創	105
妊娠に関連する母体障害	274	咬創	109
分娩の合併症	178	射創	2
産褥に関連する合併症	34	擦過創	961
その他の産科的病態	242	開放性骨折	270
		その他の開放性外傷	389
周産期に発生した病態	**47**		
出産外傷	－	**多発外傷**	**322**
周産期に発生したその他の病態	47	全身打撲骨折	68
		頭部及び体幹部骨折	39
先天奇形、変形、及び染色体異常	**6**	頭部及び上肢骨折	7
		頭部及び下肢骨折	6
症状、徴候及び診断名不明確	**43,314**	開放創及び骨折	17
循環器系及び呼吸器系	7,932	その他の多発外傷	185
消化器系及び腹部	5,577		
皮膚及び皮下組織	99	**その他の外傷**	**690**
神経系及び筋骨格系	945	爆創	－
尿路系	725	熱傷	494
認識、知覚、情緒状態及び行動	2,156	凍傷	1
言語及び音声	56	電撃傷	4
全身症状及び徴候	24,244	化学物質損傷	14
血液検査の異常、診断名記載なし	92	放射線損傷	－
尿検査の異常、診断名記載なし	4	その他の外傷	177
その他検査異常、診断名記載なし	68		
画像診断及び機能検査の異常	6	**異物、誤飲**	**806**
診断名不明確及び原因不明の死亡	1,410	外眼異物	27
		耳内異物	11
神経・脊椎損傷	**1,021**	気道内異物	209
頸髄損傷	159	消化管内異物	445
胸髄損傷	4	尿路性器内異物	7
腰髄損傷	6	その他の異物	107
上肢の神経損傷	9		
下肢の神経損傷	－	**窒息**	**158**
頸椎捻挫等	504	酸素欠乏症	7
胸椎捻挫等	9	気道閉塞	151
腰椎捻挫等	289		
その他の神経損傷	41	**中毒**	**6,151**
		薬物中毒	1,162
内部損傷	**2,217**	麻薬、覚醒剤	27
頭蓋内損傷	1,946	ガス中毒	47
気胸・血胸	150	食物中毒（細菌性を除く）	33
心肺損傷	30	急性アルコール中毒	4,823
腹腔内臓器損傷	73	その他の中毒	59
骨盤腔内臓器損傷	18		
		熱中症	**1,940**
その他の閉鎖性の外傷	**31,287**		
打撲	14,826	**溺水**	**70**
捻挫	989		
脱臼	891	**外因のその他**	**1,367**
非開放性骨折	13,128		
その他の閉鎖性外傷	1,453	**医療機関以外の場所への搬送**	**2**
開放性の外傷	**12,281**		
挫創	8,451		
切創	1,271		
裂創・割創	492		
刺創	103		

第17表

年齢層別搬送人員

（単位:人）

年齢層	計	軽症	中等症	重症	死亡	不詳
計	**209,110**	**121,858**	**83,442**	**2,469**	**1,339**	**2**
新生児(生後28日未満)	87	35	49	－	2	1
乳幼児(28日～6歳)	11,245	9,569	1,656	10	10	－
少年(7歳～17歳)	6,749	5,816	903	10	20	－
成人(18歳～64歳)	78,464	57,838	19,639	511	475	1
高齢者(65歳以上)	112,565	48,600	61,195	1,938	832	－

第18表

性別、事故種別搬送人員

（単位:人）

	計	0歳～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	65歳以上(再掲)
計	**209,110**	**13,270**	**7,332**	**19,528**	**13,479**	**13,452**	**19,771**	**20,288**	**101,990**	**112,565**
性別										
男	106,351	7,792	3,691	8,195	6,413	7,531	11,680	12,753	48,296	54,996
女	102,759	5,478	3,641	11,333	7,066	5,921	8,091	7,535	53,694	57,569
事故種別										
火災	186	1	7	28	23	15	27	35	50	67
自然災害	12	－	－	－	－	1	1	1	9	9
水難	21	－	－	4	1	3	1	3	9	9
交通	11,393	541	845	1,612	1,253	1,316	1,739	1,346	2,741	3,376
労働災害	1,607	－	47	324	207	282	390	200	157	237
運動競技	979	37	468	187	95	83	39	38	32	48
一般負傷	32,160	2,986	721	1,329	1,072	1,291	2,513	3,071	19,177	20,797
加害	1,146	18	69	262	198	195	184	105	115	151
自損行為	1,510	－	199	490	239	212	186	68	116	135
急病	148,288	9,171	4,771	14,730	9,695	9,445	13,632	14,144	72,700	80,161
その他	11,808	516	205	562	696	609	1,059	1,277	6,884	7,575

第19表

所要時間別搬送人員

（単位：人）

事故種別	計	119番入電から医療機関に収容（医師に引継ぎ）するまでに要した時間					
		10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
計	**209,110**	**7**	**2,046**	**41,080**	**140,086**	**23,506**	**2,385**
軽症	121,858	6	1,005	23,817	83,633	12,548	849
中等症	83,442	－	947	16,188	54,013	10,775	1,519
重症	1,339	1	25	353	852	97	11
死亡	2,469	－	69	722	1,586	86	6
不詳	2	－	－	－	2	－	－

第20表

転院搬送人員

（単位：人）

区分	計	救急医療機関					その他の医療機関				
		国立	公立	左記以外の公的	私的病院	私的診療所	国立	公立	左記以外の公的	私的病院	私的診療所
依頼医療機関	**11,808**	186	213	120	2	4,807	2	93	92	1,168	5,125
受入医療機関	**11,808**	959	1,199	1,027	6,848	1	63	959	591	139	22

第21表

理由別転院搬送人員

（単位：人）

理由	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
計	**11,808**	**2,716**	**2,134**	**1,826**	**506**	**650**	**816**	**1,635**	**603**	**500**	**171**	**119**	**4**	**43**	**68**	**17**
ベッド満床	186	38	16	55	15	9	26	15	2	9	1	－	－	－	－	－
専門外	1,026	144	193	118	6	40	57	305	41	63	14	2	－	3	35	5
病床なし	265	48	19	110	13	6	28	19	4	9	1	－	－	1	7	－
処置困難	9,562	2,336	1,863	1,427	334	576	661	1,257	549	396	84	9	4	35	22	9
その他	306	76	28	69	17	14	42	32	4	13	2	1	－	2	4	2
後送	463	74	15	47	121	5	2	7	3	10	69	107	－	2	－	1

※後送とは初期救急医療機関から、より高度な設備等を用いた処置を必要とする傷病者を指定の二次救急医療機関へ転院搬送したもの。

第22表

診療科目別転送状況

区　分	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
人　員	**449**	80	26	96	10	21	64	85	2	12	5	5	－	2	29	12
回　数	**451**	80	26	96	10	21	64	85	2	12	5	5	－	2	29	14
処置人員	**232**	47	20	49	6	11	30	38	－	4	2	2	－	－	17	6

第23表

理由別転送回数

（単位:回）

理　由	合計	急病	一般負傷	交通	その他	救急医療機関					その他の医療機関				
						小計	急病	一般負傷	交通	その他	小計	急病	一般負傷	交通	その他
計	**451**	**302**	**94**	**28**	**27**	**426**	**285**	**89**	**27**	**25**	**25**	**17**	**5**	**1**	**2**
ベッド満床	49	35	10	4	－	49	35	10	4	－	－	－	－	－	－
専門外	101	61	28	6	6	97	58	28	6	5	4	3	－	－	1
病床なし	12	10	2	－	－	10	8	2	－	－	2	2	－	－	－
処置困難	199	126	45	17	11	182	116	40	16	10	17	10	5	1	1
その他	90	70	9	1	10	88	68	9	1	10	2	2	－	－	－
後　送	0	－	－	－	－	0	－	－	－	－	0	－	－	－	－

※後送とは初期救急医療機関へ救急搬送したものの内、より高度な設備等を用いた処置が必要であったため指定の二次救急医療機関に転送したもの。

第24表

回数別転送状況

（単位:人）

事故種別	転送なし (A)	転送あり				搬送人員 (C)＝(A)＋(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		1　回	2　回	3回以上	小計(B)		
計	**208,661**	**447**	**2**	**－**	**449**	**209,110**	**0.2**
急病	147,987	300	1	－	301	148,288	0.2
一般負傷	32,067	92	1	－	93	32,160	0.3
交通	11,365	28	－	－	28	11,393	0.2
その他	17,242	27	－	－	27	17,269	0.2

第25表

要保護傷病者搬送状況

（単位:人）

行政区	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
計	**889**	**280**	**90**	**110**	**32**	**40**	**104**	**167**	**7**	**25**	**15**	**0**	**0**	**7**	**10**	**2**
北	**73**	29	6	5	3	2	9	15	－	－	3	－	－	1	－	－
都島	**38**	14	3	3	3	1	4	10	－	－	－	－	－	－	－	－
福島	**10**	2	－	3	－	－	4	1	－	－	－	－	－	－	－	－
此花	**11**	4	1	1	1	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－
中央	**58**	18	3	7	1	5	6	13	3	－	－	－	－	1	1	－
西	**27**	13	3	－	2	1	2	4	－	1	1	－	－	－	－	－
港	**33**	11	5	7	－	－	3	4	－	1	－	－	－	－	2	－
大正	**14**	5	1	3	－	－	2	2	－	1	－	－	－	－	－	－
天王寺	**23**	3	3	3	－	2	6	5	－	1	－	－	－	－	－	－
浪速	**59**	23	8	7	1	6	5	8	－	－	－	－	－	－	1	－
西淀川	**19**	6	2	3	－	1	5	1	－	1	－	－	－	－	－	－
淀川	**23**	5	－	1	3	3	4	6	－	1	－	－	－	－	－	－
東淀川	**39**	14	5	6	－	－	4	10	－	－	－	－	－	－	－	－
東成	**10**	5	1	－	－	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－
生野	**35**	8	4	6	1	1	8	5	－	－	2	－	－	－	－	－
旭	**15**	2	1	3	3	－	1	2	－	2	－	－	－	1	－	－
城東	**31**	8	3	5	1	1	2	7	－	3	－	－	－	－	1	－
鶴見	**33**	11	4	2	2	1	4	6	－	2	1	－	－	－	－	－
阿倍野	**15**	1	2	4	1	－	4	2	－	－	－	－	－	1	－	－
住之江	**19**	5	2	4	1	－	－	3	－	2	1	－	－	－	1	－
住吉	**27**	8	2	5	1	3	3	2	1	1	－	－	－	－	1	－
東住吉	**38**	14	3	6	4	－	3	5	1	－	1	－	－	1	－	－
平野	**57**	12	2	4	3	2	15	8	2	3	4	－	－	－	2	－
西成	**180**	59	25	22	1	11	8	42	－	6	2	－	－	2	1	1
水上区	**1**	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
市域外	**1**	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1

第26表　　救急車走行距離及び所要時間

隊	出場件数	出場→帰署(所) 走行距離(km) 延	走行距離(km) 平均	所要時間(分) 延	所要時間(分) 平均	出場 走行距離(km) 延	出場 走行距離(km) 平均
計	263,089	2,472,010.5	9.4	16,261,872	61.8	551,363.5	2.1
本部救急隊 本部指導第1	135	1,399.5	10.4	9,129	67.6	565.6	4.2
本部救急隊 本部指導第2	1,448	11,880.4	8.2	79,100	54.6	3,403.9	2.4
本部救急隊 本部機動第1	2,932	25,498.0	8.7	178,641	60.9	6,928.5	2.4
本部救急隊 本部機動第2	1,281	10,736.2	8.4	73,446	57.3	3,252.6	2.5
北	4,585	34,023.3	7.4	281,600	61.4	8,539.5	1.9
北 南森町第1	3,979	31,417.4	7.9	254,463	64.0	8,213.4	2.1
北 南森町第2	2,987	23,675.4	7.9	187,893	62.9	6,320.7	2.1
北 浮田	5,036	34,369.9	6.8	273,341	54.3	10,133.8	2.0
北 大淀町	3,851	31,801.6	8.3	245,322	63.7	8,452.4	2.2
都島 都島1	4,048	35,061.4	8.7	255,537	63.1	8,538.1	2.1
都島 都島2	2,092	19,013.8	9.1	135,727	64.9	5,126.8	2.5
都島 東野田	3,721	33,167.8	8.9	249,693	67.1	8,257.6	2.2
福島 福島	3,928	30,330.2	7.7	206,378	52.5	8,141.6	2.1
福島 海老江	3,160	26,098.9	8.3	166,319	52.6	6,794.0	2.2
此花 此花1	3,506	34,315.6	9.8	193,574	55.2	8,129.3	2.3
此花 此花2	3,265	32,459.0	9.9	188,833	57.8	7,898.4	2.4
中央 中央	3,842	32,999.9	8.6	242,380	63.1	7,739.6	2.0
中央 道頓堀	4,296	35,226.6	8.2	264,542	61.6	5,887.8	1.4
中央 上町	4,081	34,350.9	8.4	260,875	63.9	7,619.2	1.9
西 西	3,494	32,352.1	9.3	216,849	62.1	7,353.2	2.1
西 江戸堀	3,608	32,227.0	8.9	228,372	63.3	6,874.7	1.9
西 新町	4,151	35,519.1	8.6	266,187	64.1	7,090.3	1.7
港	3,708	33,741.6	9.1	229,751	62.0	7,063.1	1.9
大正	3,063	29,570.4	9.7	194,238	63.4	6,388.8	2.1
天王寺 天王寺1	4,280	34,501.4	8.1	254,400	59.4	8,648.6	2.0
天王寺 天王寺2	2,627	22,769.8	8.7	163,734	62.3	5,886.8	2.2
浪速 浪速本署1	4,276	34,544.6	8.1	231,488	54.1	7,655.7	1.8
浪速 浪速本署2	4,076	34,016.0	8.3	223,610	54.9	7,495.0	1.8
浪速 恵美須	4,471	34,501.0	7.7	258,728	57.9	7,587.9	1.7
浪速 浪速(出)	3,850	32,144.4	8.3	218,565	56.8	7,283.2	1.9
西淀川 西淀川	3,703	33,913.8	9.2	205,304	55.4	7,008.2	1.9
西淀川 大和田	3,252	30,577.9	9.4	198,006	60.9	6,575.5	2.0
淀川 淀川1	4,374	39,937.6	9.1	259,218	59.3	10,563.1	2.4
淀川 淀川2	4,183	37,077.9	8.9	246,504	58.9	9,989.4	2.4
淀川 加島	3,264	35,407.1	10.8	207,470	63.6	7,532.7	2.3
東淀川 東淀川	4,036	41,519.7	10.3	254,566	63.1	9,130.9	2.3
東淀川 小松	3,686	40,552.8	11.0	241,531	65.5	7,355.8	2.0
東淀川 西淡路	4,198	38,779.5	9.2	251,474	59.9	9,995.3	2.4
東成 東成1	3,970	34,385.7	8.7	239,388	60.3	7,799.0	2.0
東成 東成2	3,883	33,311.0	8.6	223,957	57.7	7,564.3	1.9
生野 生野	3,852	38,525.9	10.0	259,975	67.5	8,119.7	2.1
生野 中川	3,094	34,683.5	11.2	236,408	76.4	6,254.6	2.0
生野 巽	3,334	37,597.8	11.3	230,253	69.1	7,184.4	2.2
旭 旭1	4,489	43,601.2	9.7	269,059	59.9	11,185.5	2.5
旭 旭2	4,344	42,411.9	9.8	258,130	59.4	10,717.9	2.5
城東 城東1	3,963	35,439.3	8.9	242,634	61.2	8,805.8	2.2
城東 城東2	3,635	31,907.3	8.8	227,862	62.7	7,954.6	2.2
城東 中浜	3,747	34,292.4	9.2	234,196	62.5	7,938.4	2.1
鶴見 鶴見1	3,744	37,122.2	9.9	236,405	63.1	8,421.2	2.2
鶴見 鶴見2	3,553	35,451.7	10.0	226,989	63.9	7,902.4	2.2
阿倍野 阿倍野1	3,493	35,731.9	10.2	243,781	69.8	7,283.6	2.1
阿倍野 阿倍野2	3,474	35,685.3	10.3	244,034	70.2	7,264.1	2.1
阿倍野 阪南	3,350	38,735.1	11.6	246,384	73.5	7,330.6	2.2
住之江 住之江1	4,619	47,292.4	10.2	275,672	59.7	9,991.4	2.2
住之江 住之江2	2,306	24,338.3	10.6	139,959	60.7	5,467.1	2.4
住之江 南港	2,060	37,521.6	18.2	149,650	72.6	5,751.1	2.8
住吉 住吉1	3,905	35,139.3	9.0	246,545	63.1	8,181.7	2.1
住吉 住吉2	3,704	34,224.2	9.2	228,589	61.7	7,692.1	2.1
住吉 苅田	3,983	40,212.9	10.1	247,883	62.2	7,989.7	2.0
東住吉 東住吉1	4,088	44,935.5	11.0	276,155	67.6	9,331.7	2.3
東住吉 東住吉2	2,157	24,629.4	11.4	150,803	69.9	5,370.5	2.5
東住吉 杭全	3,607	39,702.9	11.0	235,589	65.3	8,190.5	2.3
平野 平野1	3,934	45,092.6	11.5	242,854	61.7	8,529.6	2.2
平野 平野2	3,706	45,219.7	12.2	222,103	59.9	8,026.0	2.2
平野 長吉	3,449	38,755.3	11.2	219,336	63.6	6,510.2	1.9
平野 喜連	4,222	45,616.2	10.8	239,186	56.7	7,869.5	1.9
西成 西成1	4,380	37,965.6	8.7	258,329	59.0	8,438.1	1.9
西成 西成2	4,042	36,462.8	9.0	243,903	60.3	7,892.3	2.0
西成 海道1	4,545	32,071.5	7.1	262,970	57.9	6,482.3	1.4
西成 海道2	4,388	30,622.5	7.0	254,420	58.0	6,200.3	1.4
西成 津守	3,285	33,632.0	10.2	207,787	63.3	7,554.5	2.3
水上	2,424	34,880.3	14.4	172,123	71.0	6,024.6	2.5
航空隊	1	999.0	999.0	370	370.0	－	－
増強救急隊	3,886	42,334.8	10.9	271,403	69.8	10,723.2	2.8

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

→現場 所要時間(分)		傷病者搬送件数	現場 → 病院 走行距離(km)		現場 → 病院 所要時間(分)		隊
延	平均		延	平均	延	平均	
1,687,081	6.4	209,110	856,168.1	4.1	1,722,753	8.2	**計**
1,400	10.4	116	363.7	3.1	848	7.3	本部指導第1
9,411	6.5	1,299	4,028.1	3.1	7,739	6.0	本部救急隊 本部指導第2
22,024	7.5	2,477	8,395.3	3.4	17,432	7.0	本部機動第1
9,246	7.2	1,129	3,464.2	3.1	7,503	6.6	本部機動第2
27,727	6.0	3,669	11,636.8	3.2	26,222	7.1	北
28,218	7.1	3,074	9,446.3	3.1	21,524	7.0	南森町第1
21,362	7.2	2,360	6,948.5	2.9	16,581	7.0	北 南森町第2
29,869	5.9	3,943	11,163.3	2.8	25,339	6.4	浮田
25,104	6.5	3,048	10,380.4	3.4	22,836	7.5	大淀町
26,144	6.5	3,273	11,604.6	3.5	24,407	7.5	都島1
14,627	7.0	1,806	6,125.1	3.4	12,658	7.0	都島 都島2
23,804	6.4	2,960	10,848.4	3.7	21,793	7.4	東野田
24,847	6.3	3,312	10,130.1	3.1	20,883	6.3	福島
19,508	6.2	2,680	8,746.3	3.3	17,162	6.4	福島 海老江
25,206	7.2	2,840	12,913.4	4.5	24,039	8.5	此花1
22,822	7.0	2,664	12,047.0	4.5	23,746	8.9	此花 此花2
24,649	6.4	3,125	10,568.2	3.4	22,740	7.3	中央
26,693	6.2	2,794	11,204.0	4.0	21,663	7.8	中央 道頓堀
25,660	6.3	3,144	11,248.3	3.6	24,957	7.9	上町
20,821	6.0	2,923	11,997.5	4.1	23,943	8.2	西
22,041	6.1	2,951	10,512.4	3.6	22,587	7.7	西 江戸堀
25,227	6.1	3,189	12,402.8	3.9	25,705	8.1	新町
20,584	5.6	3,164	13,077.6	4.1	26,198	8.3	港
18,658	6.1	2,639	10,965.0	4.2	22,520	8.5	大正
26,805	6.3	3,269	11,809.9	3.6	23,515	7.2	天王寺1
18,037	6.9	2,086	7,546.8	3.6	15,075	7.2	天王寺 天王寺2
23,957	5.6	2,969	10,859.6	3.7	21,926	7.4	浪速本署1
22,295	5.5	2,886	10,880.8	3.8	21,451	7.4	浪速本署2
22,069	4.9	2,922	11,012.8	3.8	21,540	7.4	浪速 恵美須
22,645	5.9	2,722	10,614.4	3.9	22,083	8.1	浪速(出)
21,807	5.9	3,150	13,238.0	4.2	25,348	8.0	西淀川
21,174	6.5	2,823	11,571.4	4.1	24,361	8.6	西淀川 大和田
32,445	7.4	3,458	13,448.6	3.9	27,464	7.9	淀川1
30,721	7.3	3,308	12,592.9	3.8	25,445	7.7	淀川 淀川2
22,545	6.9	2,646	11,987.1	4.5	23,433	8.9	加島
27,280	6.8	3,425	15,477.0	4.5	31,928	9.3	東淀川
23,452	6.4	3,123	15,308.1	4.9	31,074	10.0	東淀川 小松
29,345	7.0	3,387	13,561.6	4.0	27,324	8.1	西淡路
25,544	6.4	3,227	11,776.2	3.6	25,635	7.9	東成1
23,474	6.0	3,004	11,464.2	3.8	23,392	7.8	東成 東成2
25,231	6.6	3,158	13,459.3	4.3	30,038	9.5	生野
22,364	7.2	2,573	12,379.7	4.8	25,586	9.9	生野 中川
21,957	6.6	2,759	13,529.8	4.9	28,820	10.4	巽
30,897	6.9	3,547	14,183.4	4.0	29,514	8.3	旭1
29,307	6.7	3,448	13,692.4	4.0	29,674	8.6	旭 旭2
27,366	6.9	3,352	11,733.6	3.5	25,382	7.6	城東1
24,809	6.8	3,051	10,447.9	3.4	22,865	7.5	城東 城東2
23,401	6.2	3,190	11,846.2	3.7	25,694	8.1	中浜
26,921	7.2	3,351	13,330.6	4.0	30,429	9.1	鶴見1
25,460	7.2	3,220	12,839.9	4.0	28,513	8.9	鶴見 鶴見2
22,310	6.4	2,736	12,367.0	4.5	24,171	8.8	阿倍野1
22,346	6.4	2,738	12,325.5	4.5	25,432	9.3	阿倍野 阿倍野2
22,570	6.7	2,682	13,648.7	5.1	26,711	10.0	阪南
29,451	6.4	3,661	17,117.0	4.7	30,917	8.4	住之江1
16,230	7.0	1,923	8,756.5	4.6	15,832	8.2	住之江 住之江2
14,022	6.8	1,702	15,045.9	8.8	22,477	13.2	南港
27,874	7.1	3,058	12,154.5	4.0	24,407	8.0	住吉1
25,157	6.8	2,849	11,899.3	4.2	22,758	8.0	住吉 住吉2
24,646	6.2	3,028	13,832.8	4.6	25,510	8.4	苅田
27,835	6.8	3,242	16,161.2	5.0	30,631	9.4	東住吉1
15,614	7.2	1,786	8,500.4	4.8	16,074	9.0	東住吉 東住吉2
24,597	6.8	2,753	13,708.2	5.0	25,821	9.4	杭全
24,974	6.3	3,144	16,550.3	5.3	30,800	9.8	平野1
21,708	5.9	3,046	17,003.7	5.6	30,048	9.9	平野 平野2
19,292	5.6	2,722	14,406.9	5.3	25,467	9.4	平野 長吉
21,949	5.2	3,287	16,939.4	5.2	29,444	9.0	喜連
27,212	6.2	3,149	12,520.3	4.0	24,827	7.9	西成1
22,908	5.7	2,960	12,338.2	4.2	23,365	7.9	西成 西成2
22,043	4.8	3,166	11,176.8	3.5	23,904	7.6	西成 海道1
20,263	4.6	3,004	10,708.7	3.6	22,077	7.3	海道 海道2
23,318	7.1	2,626	10,914.4	4.2	22,553	8.6	津守
14,849	6.1	2,058	13,230.7	6.4	21,996	10.7	水上
–	–	1.0	412.0	412.0	120	120.0	航空隊
28,953	7.5	3,156	13,640.2	4.3	28,877	9.1	増強 救急隊

第27表　覚知方法別受信件数

（単位:件）

計	１１９	救急安心センター	警察電話	加入電話	自己覚知	かけつけ	聴言障害	その他
263,089	248,043	6,281	5,203	1,882	336	791	2	551

第28表　PA連携活動支援種別状況

（単位:件）

計	救命	高速救急	人的補助	安全管理	情報収集	その他
6,869	6,366	295	67	50	22	69

第29表　他市町村との協力状況

市町村	市域外直接出場		市町村	中継活動			
				他市救急隊に		他市救急隊から	
	件数（件）	搬送人員（人）		件数（件）	搬送人員（人）	件数（件）	搬送人員（人）
合　計	**57**	**41**	**合　計**	－	－	－	－
府下			**府下**	－	－	－	－
八尾市	3	3					
東大阪市	33	23	**府外**	－	－	－	－
松原市	1	1					
摂津市	1	1					
守口市	1	1					
吹田市	2	1					
堺市	11	8					
豊中市	3	2					
大東市	－	－					
府外							
尼崎市	2	1					

第30表　応急手当普及啓発の実施状況

講習種類	実施回数(回)	年延受講者(人)
救命入門コース	369	7,833
普通救命講習	1,237	20,535
上級救命講習	74	1,267
応急手当普及員講習	31	518
応急手当普及員再講習	64	1,092
応急手当普及員が実施した講習	979	16,231
応急手当指導員講習	2	119

第31表

救急活動状況の推移

区　　分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出　場　件　数	245,105	217,430	218,050	244,254	263,089
搬　送　人　員	203,379	176,633	174,696	186,256	209,110
医師搬送件数	10	9	3	1	4
資器材等輸送件数	－	3	2	―	―
不　搬　送　件　数	42,423	41,291	43,855	58,585	54,606
地　域　別					
市域内出場件数	245,034	217,384	218,005	244,202	263,032
市域外出場件数	71	46	45	52	57
1隊あたりの出場件数	3,829.8	3,151.1	3,115.0	3,440.2	3,654.0
1隊あたりの搬送人員	3,177.8	2,559.9	2,495.7	2,623.3	2,904.3
1日あたりの出場件数	671.5	594.1	597.4	669.2	720.8
1日1隊あたりの出場件数	10.5	8.6	8.5	9.4	10.0
1日あたりの最多出場件数	852	861	782	916	982
救急車台数					
常　備　車	64	69	70	71	72
予　備　車	16	18	18	20	20
人　口	2,740,202	2,750,995	2,748,839	2,758,013	2,773,417

第32表　　年別救急活動状況

年	救急隊数	出場件数	搬送人員
昭和24	1	……	……
25	3	……	……
26	3	……	……
27	3	……	……
28	3	……	……
29	3	……	……
30	3	……	……
31	3	……	……
32	3	……	……
33	5	……	……
34	5	……	……
35	5	……	……
36	7	……	……
37	7	……	……
38	8	……	……
39	21	……	20,317
40	21	31,986	26,735
41	22	36,911	31,568
42	22	39,796	33,409
43	24	45,248	38,215
44	24	51,600	42,704
45	24	57,830	47,654
46	26	61,835	52,146
47	26	66,369	56,615
48	26	73,634	63,443
49	28	72,436	62,126
50	31	74,988	63,953
51	32	74,945	64,232
52	33	78,212	68,617
53	34	78,739	69,157
54	35	79,925	70,802
55	36	83,889	75,068
56	37	84,041	75,367
57	37	88,029	78,755
58	37	89,325	80,195
59	37	90,173	80,878
60	38	93,043	83,958
61	38	93,140	84,423
62	38	97,872	88,397
63	38	101,810	92,203
平成元	38	106,551	97,538
2	39	113,217	103,574
3	42	116,823	107,302
4	42	117,027	107,471
5	46	120,779	111,022
6	46	123,438	113,029
7	46	135,026	123,161
8	48	139,887	127,540
9	49	141,687	128,559
10	50	150,687	135,235
11	50	153,578	137,976
12	50	164,973	148,075
13	50	174,881	155,554
14	50	178,349	158,044
15	50	187,396	165,760
16	50	194,685	172,572
17	50	202,468	178,647
18	50	205,036	179,675
19	59	204,373	173,923
20	60	193,368	161,251
21	60	197,366	161,251
22	60	205,068	165,189
23	60	210,194	166,721
24	60	214,953	170,801
25	60	220,131	175,787
26	60	218,281	176,408
27	60	219,876	178,907
28	60	226,048	183,938
29	63	229,013	188,137
30	63	242,612	200,822
令和元	64	245,105	203,379
2	69	217,430	176,633
3	70	218,050	174,696
4	71	244,254	186,256
5	72	263,089	209,110

参　　考　　資　　料

昭和50年以降の特異救急事故

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
50	3・10	6:20	西成区萩之茶屋1丁目8－20 KK千成ホテル	火災	50	5	1	4	60
	4・17	21:54	東区杉山町1 熊谷組 森之宮工事現場地下作業場	火災	12	0	6	0	18
	4・29	22:28	大阪南港フェリー埠頭	水難	10	1	1	0	12
52	1・26	2:02	大正区三軒家東2丁目3－10 遠州屋	火災	0	0	0	5	5
	5・19	2:05	港区海岸通4－5 大阪港第8突堤 ユニオンオーストラリア号	労災	0	0	0	7	7
	6・24	1:18	大正区三軒家東5丁目3－27 柳井建設KK	火災	2	0	4	12	18
	7・10	13:30	港区田中3丁目1－5 大阪国際見本市会場 くみあい家具フェア	急病	350	449	1	0	800
	10・9	18:20	鶴見区鶴見1～6丁目全域	急病	77	0	10	0	87
	10・18	1:50	城東区中浜1丁目 全域	急病	45	18	0	0	63
54	1・26	14:35	住吉区万代東1丁目15 三菱銀行 北畠支店	加害	16	13	0	5	34
	1・30	20:00	港区石田2丁目3 大阪港内 ホーロン号	急病	15	12	2	0	29
	5・21	13:56	阿倍野区美章園1丁目1－2 KK住吉ゴム	火災	0	0	0	7	7
55	5・26	17:02	西淀川区出来島2－2 国道43号線交差点	交通	13	3	0	0	16
	6・14	15:52	都島区高倉1丁目3－22 高倉幼稚園	急病	42	29	0	0	71
57	1・29	8:24	天王寺区悲田院町10－53 国鉄天王寺駅	交通	103	2	0	0	105
60	4・21	13:30	北区中之島5丁目3－51 大阪国際貿易センター	急病	21	16	0	0	37
	12・8	5:50	東住吉区桑津3丁目28－1 KK三和電器製作所	一般	118	4	0	0	122
61	2・12	2:23	西成区花園北2丁目17－20 東洋ハウス	火災	1	0	7	5	13
	2・28	2:03	生野区中川西2丁目2－4 大衆スタンド一福	火災	0	0	2	8	10
	5・5	18:09	北区梅田3丁目1－1 国鉄大阪駅西口	急病	7	14	0	0	21
63	5・18	1:52	港区海岸通1丁目5番街区 1号岸壁(中央突堤北岸壁) プリアムーリエ号	火災	23	8	4	11	46

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
元	3・7	15:10	旭区太子橋1－26先 淀川河川	運動	14	0	0	3	17
	8・27	14:18	天王寺区悲田院町10－48 JR天王寺駅4番線	交通	46	0	0	0	46
2	4・2	12:15	花博会場内　街のエリア(守口市域)ウォーターライド アドベンチャー・クルーズ	一般	19	2	3	0	24
	10・2	18:00	西成区萩之茶屋1丁目及び2丁目 西成警察周辺	一般	101	36	1	0	138
3	3・1	17:30	東成区大今里6丁目1－1 コクヨ㈱本社ビル	急病	8	17	0	0	25
5	3・24	3:23	大正区千島2丁目4－3 千島市営住宅3号棟	火災	20	0	0	0	20
	10・5	17:29	住之江区泉1丁目1 南港ポートタウン線　住之江公園駅	交通	176(救急隊による搬送人員と現場処置数)				
7	3・2	9:30	平野区背戸口5丁目 阪神高速松原線上り6．5KP	交通	39	0	0	0	39
	9・18	0:30	中央区心斎橋筋2丁目4－5 パブレストランいろはにほへと 宗右衛門町店	加害	23	0	0	0	23
9	8・4	15:30	平野区長吉長原西1丁目1－10 ダイエー長吉店	一般	28	12	0	0	40
	10・2	10:18	中央区城見2丁目1－61 ナショナルツインタワー2階2号 エスカレーター	一般	31	0	1	0	32
17	9・26	18:42	北区西天満6丁目7番2号 新日本梅新ビル	火災	20	6	0	0	26
18	12・12	21:53	此花区北港緑地2-3-75 ロッジ舞洲	急病	24	37	0	0	61
19	7・31	10:15	西区本田3丁目3番 阪神高速16号港線上り2.3KP	交通	32	1	0	0	33
20	10・1	2:59	浪速区難波中3丁目3番23号 個室ビデオキャッツ難波店	火災	3	3	4	15	25
21	7・5	16:16	此花区四貫島1丁目5番6号 児島建設ビル1階 cross-ニコニコ(パチンコ店)	火災	4	3	5	4	16
22	2・3	10:21	住之江区粉浜2丁目6番6号 市立粉浜小学校	火災	31	1	0	0	32
	12・10	11:05	中央区久宝寺町3丁目1番9号 株式会社ヒガシトゥエンティワン 本社ビル	火災	12	0	1	0	13
24	8・18	14:17	東住吉区長居公園1番 長居公園	自然	8	1	0	2	11
3	12・17	10:18	北区曽根崎新地1丁目3番17号 堂島北ビル	火災	1	0	3	24	28

大阪市消防(救急関連)のあゆみ

昭和22年 (1947)	消防組織法公布	12月23日消防組織法(法律226号)の公布により、消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理のもとに運営されることとなった。
昭和23年 (1948)	市議会での議決	１月定例市議会に、大阪市消防発足に伴う条例案及び受入準備案を上程可決し、同時に消防委員会を設置して、受入体制が完了した。
	自治体消防の発足	３月、大阪市消防本部の設置、名称、組織及び管轄区域に関する条例を公布施行し、大阪市消防が発足した。
	救急車の運用開始	４月、北消防署に救急車１台を置き、救急業務を開始した。
	消防法の公布施行	７月、消防法(法律186号)が公布施行された。
昭和25年 (1950)	消防宝くじの発売	１月、消防設備経費にあてるため、宝くじを発売し、その収益金で救急車２台を含む消防車両計20台を増強した。
昭和28年 (1953)	救急隊に関する規則制定	10月、大阪市消防救急隊に関する規則を制定し、救急業務範囲が明確化された。
昭和33年 (1958)	搬出車(０Ｓ－２４型救出車)の運用開始	７月、大阪市消防救急隊に関する規則を廃止、大阪市消防救出隊に関する規則を制定。これにより、西、天王寺の各消防署に救出車(0S－24型救出車)を配置した。
昭和38年 (1963)	救急業務の法制化	４月、消防法の一部改正により救急業務が法制化されたため12月に従来の「救出車」を「救急車」と名称変更し、車体の色を朱色から白色にもどし運用を開始した。発足当初は７隊であったが、増強して各署１隊計21隊となった。
	消防法施行令改正	12月、消防法施行令の改正（令44①）。救急自動車１台と救急隊員３人以上をもって編成。
昭和39年 (1964)	救急業務実施基準の制定	３月、救急業務実施基準の制定。
	救急業務を開始	４月、昭和38年４月の消防法の改正に伴い“救急業務運用規定”を制定、市役所前で新型救急車(0S-41型)を披露し、救急隊の発足式を行った。
昭和42年 (1967)	救急指令台の運用開始	３月、ワンタッチシステムの救急指令台が完成し、運用を開始した。
昭和46年 (1971)	救急車のサイレン切替	７月、救急車のサイレンをピーポー音に一斉切替した。
昭和48年 (1973)	機構改革	４月、警防部において救急係を救急課に昇格させた。
昭和52年 (1977)	消防局別館（コンピュータ棟）竣工	３月、火災・救急指令業務自動化事業の一環として、コンピュータ機器一式及びこれに関連する通信機器、電気設備等を収容するコンピュー

		タ棟が完成した。
昭和53年 (1978)	機構改革 応急処置の基準の制定 指令業務の自動化システム運用開始 消防法施行令の一部改正	4月、警防部を計画課、司令課、救急課、機械課とした。 7月、応急処置の基準の制定。応急処置を行うことができる救急隊員は救急業務実施基準の135時間修了者に限定。 10月、全国初の火災・救急指令業務のコンピュータによる自動化システムが完成、運用を開始した。 12月、消防法施行令の一部改正（昭和57年4月施行）。救急隊員に一定の講習受講を義務づけ（令44③）。
昭和56年 (1981)	消防法施行規則の一部改正	12月、消防法施行規則の一部改正（昭和57年4月施行）。令44③に基づき135時間講習のカリキュラムを規定（則51）。
昭和57年 (1982)	「救急の日」の制定	7月、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間が「救急医療週間」として制定された。
昭和60年 (1985)	救急隊の増隊	10月、救急隊1隊を新たに大淀町出張所に配置、業務を開始した。
昭和61年 (1986)	消防法の改正	4月、消防法の改正により、事故以外の急病人も対象とするとともに、 緊急避難としての応急手当を明文化。
昭和63年 (1988)	機構改革	4月、救急課を救急救助課とした。
平成3年 (1991)	救急救命士法制定 救急救命中央研修所開設 応急処置の基準の改正	4月、救急救命士法制定 8月、救急救命中央研修所(救急アカデミー)開設。(台東区上野) 8月、応急処置の基準の改正（拡大9項目）。9項目の実施には、250 （115 ＋135）時間講習の受講が必要。 ・消防学校の教育訓練の基準の一部改正。専科教育の救急科にⅠ課程（135）とⅡ課程（115）を位置づけ。 ・救急業務実施基準の改正（第6条）。救急救命士とⅡ課程（115）の修了者をもって救急隊を編成するよう努めるものとする。
平成4年 (1992)	大阪市救急教育センターの竣工 高規格救急車の配置 第1回救急救命士国家試験	3月、救急救命士養成教育など、救急教育専用の施設として「大阪市救急教育センター」が消防学校内に竣工した。 3月、高規格救急車1台を西消防署に配置した。 3月、第1回救急救命士国家試験に、全国で4,301名が受験、3,177名が合格。当局からは41名が受験し、全員合格した。
平成5年 (1993)	救急救命中央研修所が改称 救急救命東京研修所が移転	4月、救急救命中央研修所が救急救命東京研修所に改称。 10月、救急救命東京研修所が移転(八王子市南大沢)。

	高規格救急車を全署に配置	11月、市内全消防署に高規格救急車を配置。
平成６年 (1994)	各種救命講習制度がスタート	４月、市民に対する救命講習会及び指導員講習、普及員講習を開始。
平成７年 (1995)	救急救命九州研修所が開設	３月、救急救命九州研修所が開設。
平成８年 (1996)	高規格救急車導入率100％	１月、市内の全救急隊46隊が高規格救急車となった。
	大阪市患者等搬送事業者協会と協定を締結	８月、大規模災害時の搬送業務にかかる協定を締結。
	救急隊２隊を増隊	10月、救急隊２隊を増隊し、48隊体制となった。
平成９年 (1997)	救急隊１隊を増隊	７月、救急隊１隊を増隊し、49隊体制になった。
平成10年 (1998)	消防システム「ANSIN」運用開始	４月、消防車等の位置、動態を即時に把握する機能と、必要情報をデジタル無線を使用し送受信でさる機能を持ったシステム「ANSIN」を導入。
	「大阪市救急情報サービス」開始	４月、市民からの救急に関する問い合わせに専用電話を使って応じる「大阪市救急情報サービス」を開始した。
	救急隊１隊を増隊	10月、救急隊１隊を増隊し、50隊体制となった。
平成11年 (1999)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	５月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員２名を派遣した。
	タイ国・コンケン県へ職員派遣	10月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
平成12年 (2000)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	４月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
	教育訓練の基準の一部改正	Ⅰ・Ⅱ課程を統合した標準課程（250）を創設。
平成13年 (2001)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	１月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
	機構改革	４月、警防部を計画情報課、司令課、救急課、救助課の４課とした。
	女性救急隊員配置	10月、女性救急隊員２名を天王寺消防署救急隊に配置した。

平成14年 (2002)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 全国救急隊員シンポジウムの開催 タイ国・コンケン県へ職員派遣 「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書	１月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。 １月、全国救急隊員シンポジウムを大阪国際会議場において開催した。 ３月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 12月、総務省消防庁と厚生労働省が共同で設置した検討会で、救急救命士の業務範囲拡大を認めるべき等の報告書がとりまとめられた。
平成15年 (2003)	救急救命士法施行規則の一部改正 市長村の救急業務実施義務制度廃止 eメールによる119番通報を開始 タイ国コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の全部改正	４月、包括的指示下での除細動実施。 ６月、消防法令に規定する市町村の救急業務実施に関する規定削除。 ８月、eメールでの火災、救急等緊急通報の受信を開始した。 11月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 11月、消防学校の教育訓練の基準の全部改正。Ⅰ課程とⅡ課程の区別を廃止し標準課程に一本化した上で、救急科に改称。
平成16年 (2004)	阿倍野防災センター竣工・業務開始 非医療従事者によるAED使用開始 救急救命士法施行規則の一部改正 タイ国・コンケン県へ職員派遣	５月、大阪市立阿倍野防災センターが竣工し、業務を開始した。 ７月、非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)使用開始(厚生労働省通知)。 ７月、救急救命士による気管挿管開始。 11月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。
平成17年 (2005)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 消防力の整備指針の制定	２月、国際協力機構(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 ６月、消防力の整備指針の制定（消防力の基準を全部改正）。転院搬送の場合は救急隊員２名と医師等１名で可。消火活動に影響ない範囲で消防隊との兼務が可。
平成18年 （2006）	救急救命士法施行規則の一部改正 AED(自動体外式除細動器)を全署に 設置	４月、救急救命士による薬剤投与開始。 ９月、市内全消防署・出張所にAED(自動体外式除細動器)を設置した。
平成19年 （2007）	救急隊５隊を増隊 救急隊４隊を増隊	４月、救急隊５隊を増隊し、55隊体制になった。 10月、救急隊４隊を増隊し、59隊体制になった。

平成 20 年（2008）	救急隊 1 隊を増隊	３月、救急隊１隊を増隊し、60 隊体制になった。
平成 21 年（2009）	「救急救命処置の範囲等について」の一部改正	３月、救急救命士によるエピペン投与。
	消防法の一部改正	５月、消防法の一部改正（平成 21 年 10 月 30 日施行）。傷病者の救急搬送及びその受け入れをより適切かつ円滑に行うため、都道府県ごとに「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」を策定することなどが義務付けられた。
	大阪市救急安心センターの開設	10 月、国のモデル事業として、指令情報センター内に相談員及び看護師が医師の支援体制のもと救急医療相談に応じる「大阪市救急安心センター」が開設された。
平成 22 年（2010）	救急安心センター事業の拡大	４月、名称を「救急安心センターおおさか」に変更し、隣接する 15 市との共同運営を開始し、同年 12 月から翌年３月までは国のモデル事業として、対象エリアを大阪府内全域（33 市９町１村）に拡大した。
平成 23 年（2011）	救急安心センターの共同運営	４月、大阪府内全市町村（33 市９町１村）が共同して救急安心センターおおさかを運営。
平成 24 年（2012）	機構改革	４月、救急施策の企画執行体制強化するために、救急部が創設された。
	ウェブサイト開設	10 月、応急手当を受講しやすい体制とし繰り返し学べるよう、専用の WEB サイト「ボジョレーに教わる救命ノート」を開設した。
	救急救命士の処置拡大	12 月、救急救命士によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始。
平成 25 年（2013）	救急搬送支援システム全隊運用	２月、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える、スマートフォンを用いた「救急搬送支援システム」を全隊で運用開始した。
	救急資器材管理供給業務（SPD）開始	４月、救急隊が使用する物品の選定、調達・購入方法の設定、発注から在庫・払出・使用・消費・補充に至る一連の物品の流れ（物流）、取引の流れ（商流）及び情報の流れ（情報流）を物品管理システムを使い一元管理する「救急資器材管理供給業務（SPD）」を開始した。
平成 26 年（2014）	救急救命士の処置拡大	10 月、救急救命士による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与開始。
平成 27 年（2015）	小児救急支援アプリ（大阪市版）運用開始	９月、スマートフォン専用アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を開発し、大阪市内を対象地域として、９月９日から運用開始。
平成 28 年（2016）	小児救急支援アプリ（大阪府版）運用開始	４月、小児救急支援アプリを救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大。

平成 29 年 （2017）	救急隊３隊を増隊	４月、救急隊３隊（うち１隊を本部救急隊として運用）を増隊し、63 隊体制になった。
	指導救命士運用開始	５月、救命士等の教育等を担当する指導救命士を運用開始。
平成 30 年 （2018）	救命サポートアプリ運用開始	４月、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当を実施することができる「救命サポートアプリ」の運用を開始した。
令和元年 （2019）	救急隊１隊増隊	10 月、救急隊１隊（旭第２救急隊）を増隊し、64 隊体制になった。
令和２年 （2020）	救急隊５隊増隊	４月、救急隊３隊（うち１隊を本部第２救急隊として運用）を増隊。 10 月、救急隊２隊増隊し、69 隊体制になった。
令和３年 （2021）	救急隊１隊増隊	10 月、本部第３救急隊を増隊。本部第３救急隊（日勤運用）として運用開始し、70 隊体制になった。
令和４年 （2022）	救急隊１隊増隊	４月、救急隊１隊（本部機動第２救急隊）を増隊し、71 隊体制になった。 この増隊に伴い、本部救急隊の名称が変更された。 本部指導第１救急隊（日勤運用） 本部指導第２救急隊（日勤運用） 本部機動第１救急隊（24 時間運用） 本部機動第２救急隊（日勤運用）
令和５年 （2023）		４月、南森町第２救急隊を増隊し、72 隊体制になった。